京城日報

三日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓 （郵送料前金） 郵券代用ハ一割增
廣告料 ▲五號活字一行金四拾錢 ▲欄內一行金七拾錢 ▲三號活字同上倍額 ▲六號活字同上 一行は五號活字の一行
發行兼編輯人 印刷人
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話（編輯局二三四番 營業局二一番） 振替貯金口座京城三〇〇番

歐洲大戰亂

▲「獨墺人を打て」

騷然たる羅國議會開院式

ブカレスト來電に據れば二十八日議會開院式あり此れには協商側獨逸側中立國使臣も參列せるが羅馬尼王は皇太子と共に臨御し拍手と萬歲聲裡に勅語の朗讀あり此間政府反對黨は『獨墺人を打て』と呼び爲めに王は一時朗讀を妨げられたり然るに政府黨及び自由派は之に反對して絕叫し爲めに場內騷然たり政府を倒せと叫びし代議士ミルレ氏に對し自由派の者之を組伏せたり朗讀後王は皇太子と共に拍手の裡に退場したるが自由派の者は政府黨と分離し反對黨に入りし爲めに今後議會は依然騷擾を極む可しと（倫敦電報）

▲墺國三大臣の更迭

獨帝訪墺後＝辭職者は單獨媾和主張者

アムステルダム來電に據れば墺國皇帝は大藏大臣アインクエルエン男、內務大臣チエンジンスキー氏、商務大臣フォンボンノット氏の辭職を聽許したり後任としてはフォンレットを大藏大臣にシルリングフエルスト侯を內務大臣にフォンスピットミレンレル氏を商務大臣に任せらる此の更迭は獨帝の墺都訪問に關聯し辭職せる三大臣は露國及び伊國と單獨媾和を主張し居たりと謂ける（紐育電報）

○首藤羅南旅團長 首藤羅南旅團長は御大禮參列の歸途三日元山を經て同地に歸任せり（元山特電）

○竹尾氏逝く 大阪實業家にて紡績界に功勞あり殊に棉花問題にて八釜しかりし竹尾治右衛門氏は遂に二日午後三時逝去せり（大阪特電）

雜報

●支那外人經營鑛 支那政府の調査によれば現に外人の經營せる全國鑛產は十五箇鑛ありて左の如しと

鑛種	省別	國別
石炭鑛	吉林	日本
一面坡炭鑛	同	露國
札賚諾爾炭鑛	黑龍江	同
撫順炭鑛	奉天	日本
烟台炭鑛	同	同
本溪湖炭鑛	同	同
扇溝炭鑛	同	同
坊子黌山炭鑛	山東	獨逸
金嶺鐵鑛	同	同
右二鑛は目下日本に於て經營す		
開平灤州炭鑛	直隷	英國
門頭溝炭鑛	同	英佛
井陘炭鑛	直隷	英獨
焦作炭鑛	河南	英國
個舊錫鑛	雲南	佛白
陝西油鑛	陝西	米國

●北滿敵貨入禁 露國政府が愈に十月五日を以て發布せる敵國貨物の露境輸入禁止令は都

●皇子降誕祝詞 皇后陛下には二日夜皇子御分娩あらせられしに付山縣政務總監は三日午前十時十分宮內大臣に宛て一謹で皇子御誕生を祝し奉る右天皇皇后兩陛下へ執奏を乞ふ」旨の電報を發したり

●李王家御祝詞 皇子御降誕あらせられたるを以て李王、同妃兩殿下、李太王殿下、李堈公、同妃並に李埈公、同妃各殿下は三日午前使者を派して山縣政務總監に御祝詞執奏方を依賜せられたるに付き、山縣政務總監は即刻宮內大臣に宛て右各殿下は謹んで皇子御誕生を祝し奉る旨傳奏方申出でらる右天皇皇后兩陛下へ執奏方を乞ふ旨の電報を發せり

●農技茶菓饗應 山縣政務總監は三日午後三時より農業技術官會議の爲入京中なる各道農業技術官並に勸業模範場長以下同

所技師等を總督官邸に招待し茶菓の饗應あり總督府よりは關係各部長官、課長、技師等臨席したり

●農技官會同（第四日） 農業技術官會議第四日は前日に引き續き午前九時半より總督府第二會議室に開催、各道農業技術、模範場長以下各技師をはじめ總督府よりは石塚長官以下農商工部各課長技師等出席し午前中に協議事項を了し午後より總督訓示及び指示ありて午後四時散會したり

●博物館開館 觀覽料五錢均一 共進會開催當時の美術館は既記の如く諸般の陳列替を了へ十二月一日より開館せり、同館の觀覽料は大人小兒共五錢均一にて此觀覽券は景福宮內全般の觀覽を爲し得可し、因に一日の觀覽者は四十名なりしと

●京城商議設立認可期 京城商業會議所設立の件は總督府の審議を了へ總督の決裁を仰ぎつゝありしが愈々今明日中には設立認可の運に至る可し

●朝鮮經濟槪況 前途光明を認む 總督府の調査に係る十月中の朝鮮經濟槪況を聞くに同月は冬季需要品たる綿絲布及び石油の仕入も一段落を告げたることゝて十月の輸移入貿易は前月に比し六十六萬圓の減少を來したるも米穀は內地相場漸騰の氣配を受け時恰も出穀期に際し出廻り多く殊に牛皮及び棉花の取引は近來稀に見る盛況を呈したる爲め、輸移出貿易は前月に比し八十九萬圓の增加を示せり、從つて是等買付資金等の需要を喚起し從來不振を重ねたる金融界も頓に繁忙を加へ、民間預金は前月に比し四十四萬圓を增加せしのみならず、諸工事受下金其他國庫より市場に撒ひ出されたる資金尠からず且つ共進會觀覽客の爲め各地方を通じ一般に多少の景氣を添へたる等種々の原因に依り銀行券の流通高は前月に比し二百六十一萬圓を激增し月末二千五百七十萬圓に上り財界の前途は稍光明を認むるに至れり

●製紙界の曙光 朝鮮に於ける紙類の產額は一ヶ年約七十萬圓を算し全土概ね製產せざるはなく、就中慶南を主とし京畿、全北、慶北の各道之れに次ぐ、而して其種類は專ら楮を原料とせる強靭なる手漉紙にして在來高麗紙として其名を知られ、每年支那に輸出せらるゝもの約十二萬圓內外を算し、近來露領亞細亞及び內地へも多少の輸移出あり、其支那に仕向けらるゝものは主として窓張又は衣服の中入用に使用せらる、然れども紙の大小、重量等一定せず又目付の爲め

▲白土を混入するの弊害ありて缺點少からざる而已ならず、一方には西洋紙の輸入せらるゝもの次第に增加し支那に於ける朝鮮紙需用の前途寒心す可きものあるを以て之が改良を圖り輸出增進の途を講ずるの必要なるを認め總督府に於ては目下其改良方法並に販路等に就て精細なる調査を進めつゝあり而して一方に於ては朝鮮に在りても和紙及び洋紙の需要漸次增加し每年百三十萬圓內外の輸移入を見るの狀況なるより近來屑紙、襤褸、パルプ其他の材料を以て和紙、洋紙の製造を試むるものあり、現今

▲工場的組織として稍見る可きものは京城府龍山に於ける朝鮮製紙合資會社慶尙南道東萊郡龜浦に於ける個人經營の芦草パルプ製造及び抄紙工場を以て主たるものとす朝鮮製紙合資會社は明治四十三年の創立に係るも會社內部に紛擾を生じ事業の成績良好ならず、專ら其整理中に在り、朝鮮紙料製造所は大正二年の創立にして日尚ほ淺く且つ資金充分ならず未だ事業の發展を見ざるも內地某有力商人に於て之を經營する目的を以て調査中なりといふ、而して總督府に於ては此種の事業に對しては常に相當の援助を與へ、又其地の指導に努めて事業の成功に助力を怠らされば斯界の發展は遠き將來に非る可しと信せらる

●冬期と天津航路 天津より大連に歸航せる濟通丸船長の談に據れば白河は例年最早終航の時期なれども本年は珍らしき暖氣にて天津地方の溫度も殆んど當地と差なく從つて未だ流氷を認めず唯浮標のみは十一月末限り撤去せられたれども其代り木製の輕便浮標を造られ事實上何等航海に差支ず太沽より天津迄の曳船も平常の通りにして碎氷船も萬一の爲め準備せられ居れば十二月二十日頃迄は大丈夫なりとの說なり又水先案內の談によれば今冬は或は休航無しに來春迄航運を繼續せしめんとの意見もありたるが此は碎氷船の効力奈何に據る問題にして果して實行出來るや否や保證の限りにあらず郵商船天津內地間は未だ全く終航に至らず福州丸大東丸の如き現に本船出帆時迄碇泊し居たり（大連）

●定例長官會議 三日は定例長官會議當日とて山縣政務總監以下各部長官、局長並に不在長官代理等は午前十時より總督府第一會議室に參集、通常政務に就き打ち合せの上正午散會したり

●上林總代歸任 朝鮮總督府事務官總代として大典に參列せる上林山林課長は大禮終了後東上せしが三日午後九時南大門驛着汽車にて歸任す

●山形大佐入院治療 山形囊其大佐は頸部に瘍を生じ過日來自宅に引籠り治療中の所日を趁うて經過良好なるも消毒其他治療の都合上二日總督府醫院に入院せり

人事消息

▲坂居智隆氏（鐵道局課長） 官有地取調の爲め二日京釜鐵道高興郡に出張せる同氏は同日夜歸任
▲石川良之氏（鐵道局技師） 線路調査の爲め湖南線に出張中の處二日夜歸任
▲アグレン氏（支那總稅務司） 狩獵の爲め開城附近滯在中の處二日朝歸北
▲モーヘット氏（奉天稅關長） 同上
▲ハンサン氏（安東稅關長） 同上

●大阪より

▲全國肥料聯合大會 全國肥料聯合會は卅日東京に開會し其筋へ具申したる南洋アンガール群島に於ける燐礦石は今回我が海軍において採取の結果近日第一回分約一千噸の入札を開始すべきにより東京本部の事務主事來阪の上加盟の各會社を歷訪し右入札上の內議を纏めしを以て愈々聯合會が前記入札を爲すため價格其他につき協定の必要を生ぜしに依れりと

▲對支那貿易 內地の對支那貿易は頃日銀塊相場が約二十七片四分の一に低落し爲替相場も順調の經過を見るに至りたる模樣にて同時に同貿易の狀態は一般に好望を呈し一面には大阪在住の支那商人は頻りに內地產出の綿絲を買占め漸次に此を本國へ移出しつゝあり折柄天津其他に對する大阪發船の終航路は近きに居る爲め此際一層雜貨等の輸出を急ぐを要するよりかた／＼同貿易は益々景氣を添へ前途有望の好勢なりと

▲銀行配當と持株 今期銀行業の成績は資金の需要尠く手許金の增加一方に貸出利子の收入前期より遙に尠く何れも成績は良ならざるが今遽かに配當を減ずるは世間に對する信用も如何あらんかと考慮しつゝあり、然るに銀行の持株は過般來著しく騰貴し居るを以て此の際之が處分賣行をなさば非常なる利益を見るべきも此騰貴相場にて銀行の一種の輔配當とも見るべき持株を爲さば所謂騰貴値段にての計上は世間の指彈を買ふは必定なるべし然るに今の所有株券が果して長く此値段を保持すべきや否やは甚だ疑ひなき能はざるを以て此の場合著實の手段としては暫らく配當の減少を忍びて寧ろ此際持株の處分賣を爲し之を積立て置き必要に應じて該金の運用をはかれば結局銀行の利益を增大ならしむるに至るべしといふものあり（支局發）

南言北語

支那では日本の警告を最早打ち切りと思つたのか帝政の準備をドシ／＼大びらに進めて居る▲陸徵祥や岑春煊等が騷ぐと云つて來ても何の事だと濟した者だ▲國號を中華と改め國旗は五色旗に龍を染め出したものを用ゆるなど大膽千萬な事をやつて居る▲日本は警告の打ち切りをやつたのではない妙な問題が飛び出したから鳥渡手控をして居る處だ▲御存じかあるかないか知らぬが可愛想に益々深みへ這入つて行く▲議會では全院委員長や請願委員長やで與黨が角突き合せをやつて居る間に議場では議長が早や揚げ足を取らるゝと云ふ騷ぎ▲在野の政、國聯合軍は片唾を呑んで攻擊の目を光らして居る▲首相は病氣だし對支外交は益々困難になる內閣は眞紅な汗が出る程急がしからう▲が、先づ交友俱樂部から全院委員長として今井元三郎氏を出したから▲中正會から請願委員長を出せば先づ此の衝突き合ひも納まるのだらう▲考へて見ると大隈內閣は成立して以來一年と八箇月になる▲其の間議會を開くこと今度で六回だ▲之れを平均すると三箇月弱に一回の割合になる▲閣亦た多事なりと謂つべしだ▲內閣多事と云へば墺國內閣では單獨媾和主張者の內務、商務、大藏の三大臣はカイゼルの入智慧で首をチョン切られた▲羅馬尼では議會開院式當日國王が勅語を讀み始めると忽ち大騷動が起つて遂に勅語は中止▲反對黨の一代議士は自由黨連と摑み合ひをして組み伏せられると云ふ騷ぎ▲マア／＼之れから見ると野次は多いが日本の下院などは結構な話だ▲而し之れを見習つてやられた日にや堪つたものでない

和曹溪五笑韻　松田學鷗
曹溪五笑儀含卑○況看風流翰墨新○欲往從之雲樹隔○寒鴉點々小于塵○
壘巖頃來寓千畿○政府旬中故友客○同誰語我宾○雖歡山色水聲新○地呼藥政蘊非俗○石瘦松寒不著塵○

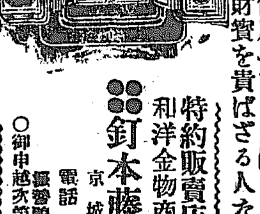
商業登記公告
株式會社石川縣物產紹介所ハ大正四年拾壹月拾六日各株ニ付金拾武圓ノ拂込ヲ結了シ各株ノ拂込金額ヲ金武拾五圓ト變更シタリ
右大正四年拾壹月武拾九日登記
名稱ノ變更ニ依リ三井物產株式會社ハ北海道小樽區北濱町四丁目壹番地ノ支店所在地ヲ同區北濱町參丁目壹番地ト變更シタリ
右大正四年拾壹月參拾日登記
廣業株式會社監查役朴晩緒ハ任期滿了ニ依リ大正四年拾壹月武拾七日退任シ同日京城府西大門町壹丁目百四番地柳棟秀監查役ニ當選就任シタリ
右大正四年拾武月壹日登記
京城地方法院

登記公告方
大正五年中商業其ノ他法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ當院ハ仁川府ニ於テ發行スル朝鮮新聞ニ管內ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス
大正四年十二月一日
海州地方法院

御禮
小生出發の際は早朝にも不拘御多忙中態々御見送被下候段奉深謝候早速參上御禮可申上之處何分準備中の事に付乍略儀紙上を以て御厚禮申上候
十二月三日 玉井軍平

旅館 月見館
茶代廢止 席料なし
東京市芝區愛宕町二丁目
閑靜清潔交通便利 電話芝一八六五番

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百廿五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

東京竹內製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり

◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶卽ち生命なり金庫は遺憾なく之れを保護す
特約販賣店 和洋金物商 釘本藤次郎本店
京城本町二丁目 電話四五一・二七四 振替貯金京城二七五六番
○御申越次第目錄進呈す○

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、蓆、金巾、燐寸、石油、洋鰯、鍋釜、紙、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店 電話二八二番 振替京城一一二番

300000
堀井謄寫版
●世界の進步と共に文書事務益々繁劇なるに際し如斯利器を逸する能はず
●輕便有益なる本器の眞價は世既に定評あり
●知るべし發賣數卅萬臺餘を超過せるを

販賣元 謄寫堂 京城府大門通二丁目
京城出張所 京城本町 電話六二四番 振替京城一〇五八番
特約店 梶平支店 其他各地取次販賣店

朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
初版賣切れ再版大增補發賣 定價金八拾錢（郵稅六錢）
朝鮮語會話
●受驗者必携の好資料 ●袖珍總クロース四百頁頗美本
江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や初版壹萬部を賣盡して尚要求盛んなるに付改訂大增補を行ひ再版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ
發行所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

時間表 （南行） （北行）

瑞氣ぞ滿てり青山御産殿

◉御氣色美しとこそ承はりて民草の悦はいとゞ

皇后陛下には既電の如く御安産あらせられたるが御産氣の御模樣ありし前夜まで　陛下には平素の如く各方面より献上の婦人雜誌類を播かせ給ひ初冬の夜長を十時頃まで

御書見遊ばされて

御機嫌麗はしく寢殿に入らせ給へるやに拜聞す、而して毎朝例刻午前六時三十分には必ず寢殿出御、御産氣迫れる折柄にも婦人の嗜みなる御化粧の事を疎にさせ給はずお手づから

御化粧をも遊ばさ

れ御朝食後、御日課とも申上ぐべき數種の日刊新聞を御覽あり夫れより御座所の廊下に陳列しある青山御苑培養の菊の名花とくさぐさの盆栽に御目を注がれて御賞美あらせらるゝこと少しも御平常と御異りなかりしと承る

愈御産氣の御模樣

拜するや光榮ある乳母の人角田こと子は一電の下に招致せられたるがこと子は直ちに御乳を參らせず最初の御哺乳は御母君陛下莞爾やかに御躬から遊ばされたりとの御事なり

御産室は十五疊間

にして平常の御居間の御次に當る極めて靜かなる御部室なりと拜聞す、當日御陣痛の御催しあるや急報に依り宮內大臣代理石原次官直ちに參殿し夫れ〲豫定の準備に依り諸事奉仕の手筈に取掛りたりと(東京特電)

▲御産殿の御模樣

皇后陛下御安産の御模樣を漏れ承れるまゝに尚ほ記し奉らんに當日は御陣痛の御催しあると共に一部屋七間の廣き御部屋に乘ねて控へ居たりし二人の

産婆をば電鈴にて

御召しあり兩産婆は幅二間の御廊下を御座所入口の板戸の方へと急ぎ御迎への女官共々御産室へ伺候しまつれり御産室內には兩産婆の外は何人も入るを許されず侍醫も赤十字病院より參上せる三名の看護婦も閾一ツを距てゝお次の間に控へたりやがて愈御安産あらせらるゝと聞ゆるや一産婆

御生兒に御産湯を

御使はせ參らせ御産著を纏はせ奉りて御次の間に控ふる看護婦の手に渡し奉し他の産婆は御後産の始末なし參らせて後侍醫は始めて御産室に參入し御母體と御生兒を拜診し奉れるところ　陛下には御容態御麗に差したる御惱りもなく頗る御健全に渡らせられしやに拜聞す(東京特電)

▲畏くも御優しき御心

皇后陛下には御産氣近づける御身の尚ほ婦人の嗜を怠らせ給はず畏くも御手づから御化粧をも遊ばされしと承はるにつけても、其の御用品たる御化粧道具は定めし金銀眩き華麗なるものと拜察さるゝが實は然らず、して來春より御使用あるべく名古屋製陶所に調製方御用命ありたる御化粧道具は硬質磁器に鮮やかな藍模樣を染付けたるのみにて高尚優雅の趣きある

極めて質素の御品

にして御坤德のいや高き拜察するだに畏き極みなり、御道具は紅猪口、紅茶碗、白粉壺、水入、脂肪壺など總て七種を一式となし、各個に御紋章と

鷄に竹の模樣を染

め付けられたるものにて、鷄を御選擇あらせられたるは　陛下が十二支の中酉年にあたらせ給ふ故なりと洩れ承る、御調度品は本年十二月中に宮內省に上納する筈なるが故に、同製陶所にては極て謹愼なる態度にて一線一劃も苟くもせず謹製中なり

◉此時有權者些ッとも騷がず

ニヤリ〱と運動員を見て思はせ振り
そろ〱色めいて來た商議評議員選擧

京城の選擧騷も一年に一度商業會議所議員の半數改選が殆んど年中行事の樣に行はれて居た位でそれとて元の民團議民の選擧の樣な面影はなく僅か投票前の一兩日が色めいた位であつた是れからは三年目に一度學校組合議員の總改選と今度出來ようとする京城商業會議所の評議員が二年目に總改選になる位であるその學校組合議員の選擧も大正六年でなければ行はれぬからして今後約二年間程は全く京城には選擧と云ふものが見られぬことになるので從つて今回の商議評議員選擧が普通の場合と異なり候補者も有權者も一般に意氣込の強いのは當然のことであらう

■今度こそといふ今度

會議所定款の認可が一日や二日早かれ遲かれ必ず選擧は行はれるものと見込をつけた候補者は何しろ今度をと云ふ今度は餘程褌を緊めてかゝらねばならぬと思はぬ失敗を招かねばならぬと末だ定款の草案が創立事務所の机の上に在る時分から徐々彼方此方に當りをつけて見た者もあり平素御無沙汰のお詫旁々伺候した向も尠なくなかつたと聞く選擧有權者も其弱味?に附込んで仲々一度や二度の拜趨では貧乏搖ぎもせず頗る強硬の態度を取ると云ふ按排でやつて來たが愈々定款の認可も三日中には決定するし選擧も十五日に斷行すると矢鱈早に形勢急なりと報せられては肝腎の商賣もそつち除けにして熱中すると見え何れに行つて見ても不在々々と云ふ計り

■目算違ひで狼狽

最近に至り非常に候補者を狼狽させたことは定款の大修正である就中一級候補者に於て尤も甚しい影響を崇る樣である變に創立委員の提出した市議書には二百圓以上府の營業税を納むる者を一級とし其選被選擧有資格者を三十九名と概算され居たるため一人四票又は二票位の得票にて出られるだらうと豫想されて居たが修正案では更に其數を減じたと云ふことである假りに一級有權者を三十名とする時は之れより十一名の內地人四名の鮮人評議員を出すとすれば勢ひ猛烈な競爭を免れまいが而かも尚一級は二級に比し比較的運動容易なれば一級より二級を窺ふ者の無き代りに二級候補者は反つて一級の蹟を狙ふと云ふ有樣なれば油斷のならぬは一級候補者にて最も猛戰を要するであらう

■候補者の顏觸れ

目下其れと目されて居る候補者を擧て見ると

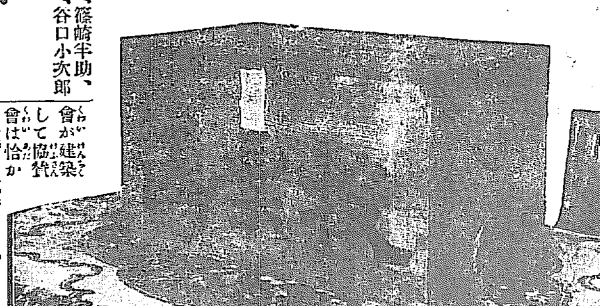
▲一級候補者(十二名)　梶原末太郎、釘本藤次郎、廣江澤次郎、佐野彥藏、林茂八郎、唐川立造、原田金之祐、篠崎半助、天日常次郎、關繁太郎、谷口小次郎、高木德彌(◉印新候補者)

▲二級候補者(十六名)　辻本嘉三郎、遠藤廣吉、增田三穗、執行猪太郎、藤田安之進、石野熊一郎、古城龜之助、横田瀧三郎、藤富國太郎、鍋島宇吉、近藤脩、林田金次郎、首藤定、進辰馬、堀尾潔、池田長兵衞(◉印新候補者)

右に依れば一級の內地人定數十一名に對し十二名二級の同十二名に對し十六名と云ふ候補者の顏觸れなれど尚ほ餘す十二日間に於て十名位の候補者が弗々現はれて來て番狂はせをやるのは從來の例であるが尚ほ一級より進早く名乘りを擧げた三好和三郎氏は京城鏡寶會社より出たい考へで同社の專務取締役たる池田長兵衞氏に交渉した所が『僕は僕の方が出たいので』と談判不調になり三好君は出馬を中止し尚又中村再造氏は斷然候補を思ひ止まつたと云ふ

■そろ〱密會凝議

篠崎半助氏は一級よりせんか二級よりせんかと形勢觀望の姿であるが自分が一級の選擧有權者であるため矢張り一級から出るらしい、尚ほ三日は午後四時から本町三丁目の淸香園に靑年實業團と稱する釘本藤次郎、古城龜之助、横田瀧三郎の諸氏を始め總計七名の候補者が會合する何でも今春龍山で開會した運動會の後始末をするといふことであるが何れはまた何とか逐鹿者流の噂の種に上ることであらう



◉劇場問題

演藝場讓渡破談
京城座株式募集

京城協贊會演藝場を京城兩券番が記念物として拂下げを受け永遠に之れを保存せんとの健氣なる思ひ立ちより

▲兩券の老妓連　を驅つて拂下げ運動に着手したる事は既報の通りなるが此の演藝場は元々堀內商會が建築して協贊會は恰かも賃借の姿となり居たる爲め當然堀內商會に返戻し堀內商會は之れを黄金遊園の持主田村義次郎氏に二千百圓にて讓渡し田村氏は之れを以て

▲黄金館の改築　を爲す可く決定し居れる處へ一足遲れて老妓連は堀內商會へ懇願せしも右の通りに付きこゝに一同は田村氏に向け讓渡しの運動に着手し次で兩券番よりも

▲委員を選んで　田村氏に諮るところありしに田村氏は然る可き人物を以て交渉せらるゝに於ては讓渡しても差支へなしとの事に一同は協贊會理事釘本藤次郎氏に斡旋方をられん事を懇願せしも釘本氏は例の新劇場京城座の創立發起人なれば表面此の渦中に投ずるは面白からず只相當の助力を與ふべしとのことに一同は他の方面に

▲依賴して交渉　中なりしがこゝに京城券番連大部分の債權者たる森勝次氏が經濟上より打算して大に之れに反對し又一方田村義次郎氏の方に於ても黄金遊園の關係者側より是非共該演藝場買入れの利益を主張して遂に讓渡を拒絕するに至りしより二日午後遂に破談となり老妓連の運動も全く水泡に歸したり

△新劇場設立準備の進行

京城に新劇場の必要なる事は共進會開會に際して一般の認めたる處なるが豫ねて認可中の新劇場京城座の進行に就ては其後聞く處なかりしが愈に共進會開會中

▲豫て大株主　と目され居たる福岡市九州劇場社長許斐及び天勝一行の座主野呂の兩氏入京したるを機とし發起人釘本、小林、小川其他の諸氏等去る十月末集會協議の結果當初申請したる資本額は餘まりに多額なるを以て之れを減額し當地の狀態に適當する劇場を建築せんとの議一決し而して許斐野呂兩氏に於て株數總額の半分を引受けることゝなり模樣變更に就ては爾來許斐氏の手に於て

▲設計中にして　出來次第其筋に變更の申請を爲し同時に一般募株に着手する筈なるが十二月中に之れを爲すか或は一月に延期するかは目下發起人間にて研究中なるが年末多忙の際を避け多分一月早々募集するに至るべしと

◉子供大會

六日曜學校聯合

京城龍山の基督教日曜學校六校は聯合して五日の日曜午後二時より長谷川町日本基督教會に聯合子供大會を開き教師等は種々の餘興を爲して子供に見せる仕組なりと

◉土石に壓せられ三名慘死

忠淸南道公州郡灘川面伏龍里に於て三生乘次郎氏の經營になる金鑛に於て十一月二十九日午後一時七名の坑夫晝食を爲さんと坑口に於て休憩中俄然土石崩壞し來り灘川面伏龍里李維金同所文月萬同所崔守玉の三名壓沒せられ人相判明し難き迄全身の骨肉碎裂し即死、同所梁昌浩は大腿骨折を爲し直ちに公州慈惠病院に入院治療せしが翌日遂に死亡せり

◉狩獵に開城へ

銃獵に趣味を有する京城紳士の一團は五日午前二時四十分南大門驛發列車にて開城に至りその近郊の山野に一日の狩獵會を催すことゝなれり此行に參する人々は早野眼科、阪井耳鼻、田中丸醫官、和田外科、中村耳鼻科、小林內科、池田小兒科、衣笠婦人科の醫師會の人々及び鮮銀の森、矢津、高田商會の澁谷、瓦斯の小林、東拓の谷川、總督府の弓削、遠藤其他塚谷、日置、三好の諸氏二十餘名にして例に依り和田ドクトル團長なり

◉煙突の檢查

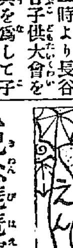
鍾路警察署にては火災豫防の爲め先月二十三日より管內各私立學校會社工場湯屋宿屋等に就き火氣類の置場所設備等臨檢したる結果危險と認めたる置場を適當の箇所に變更せしめたるもの石油の置場を轉せしめたるもの二十五箇所同じく薪炭の位置を變更せしめたるもの六十三箇所同上洋燈三十箇所煖爐を修理或は位置を轉換せしめたるもの五十六箇所煙突の修理をなさしめたるもの百四十五硝子の油壺を金屬製に改めたるもの四十七其他諸注意の許に變更せしめたるもの百三十八件都合五百四十九件ありたり

◉下水の大浚渫

是迄京城市中の下水溝浚渫は共進會の爲め警察側主となりて大浚渫を勵行し居たりしが季節早や結氷前に迫りたるを以て此際下水の浚渫を施行すべく本町署にては五日より事務巡査を以て管內各戸につき自家の區域に關する分を各自に浚渫せしむべく着手すべしと

◉山形庄內入會　山形縣庄內出身者の組織せる庄內人會は四日午後五時より黃金町精華亭に於て開會す希望者は日韓物會社內岡田氏へ申込むべしと

◉仁川藝妓の順番　仁川藝妓券番十一月中の稼高の順番を聞くに八個の玖欽が一番次が菊本亭の榮丸、鶴のりん、成太郎、金龍、一若、吉彌、孫太郎、笑太郎、春駒、朝駒、福吉、貞奴、光子三吹、(以下略す)なりと



▲記念琵琶演奏會　筑前琵琶指南井上旭嶺氏の改名及び三週年記念演奏會は四日(土曜日)午後六時より京城ホテルにて開催當日は旭嶺氏の居席を始め旭汀氏の勸進帳、旭硒氏の由井ヶ濱、旭碩氏の忠度都落、旭燈氏の乳乳の國都等各番の演奏あるべし

▲浪花館の赤穗　浪花館にては三日より京山恭安及び吉田若香の二枚看板にて開演せり芸題は新物揃として若丸と東西兩大關に擬せられ居る人氣者なれば本年掉尾の興行界だに賑はすべし

▲壽館　女優右衛門一座にて開演中同人四日の語物は伊達孫兵衛なり

▲御成座　四日の替りは琵琶歌

▲大正館　二日より寫眞替り史劇伊達政宗が呼物なり

◉仁川船腹補充策　仁川穀物協會にては目下の船腹に付き協議を遂げたる結果兩社に對しつ……に會員有志の集會を催し種々善後策……運賃路船の從來仁川に往航のみ寄港……前に積荷の有無を豫告するか何れか……

◉十八分喰倒す　……異狀を呈したる模樣なれば家人は注意を怠らざりしも……たるに妓生李桃紅か夕飯は他より買ひ來るに依り代金を請求しざるも……は卷煙草の空……

十二月四日　晴　一時曇

內科　小兒科　入院隨意　京城日出小學校前　多々見醫院　院主醫學得業士　多々見五郎　電話九百五番

最上醤油　京城本町三丁目　田中支店釀造　電話七六四番

金牌受領　上酒壹升に付四拾錢　淸酒美琳燒酎　釀造元　中井酒造場　京城櫻井町一丁目

醫化學諸器械一式　(K)　仁川本町　北島藥店　京城本町永樂町角　北島藥店京城支店

藥種賣藥卸商

本場みかん(毎日數噸宛入荷)　食料品雜貨　淸酒醤油　瓶詰罐詰　果實　海產物一式　問屋　京城旭町一丁目　岩城醬商店　振替京城一〇〇六　電話八百番

無双醇良清酒　衛生無害　品質無双　首藤合名會社吟造　精白米御小賣　キリンビール　サッポロビール　醤油　亀甲萬　各種　シトロン　三矢布引サイダー　各種　朝鮮發賣元　首藤京城支店　黃金町(電話一一七一番)

入院隨意　酒井婦人病院　京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)　電話二六〇番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢四厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候　株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番　同　龍山張所　龍山旭橋町　電話一八一　諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

◎參列の歸りに
矢張東京は好いね

忠淸南道長官小原新三氏は二日午前入港の連絡船弘濟丸にて釜山着同十時三十分發列車にて歸任せり氏は釜山支局記者に語つて曰く

御大典に參列するの光榮に浴したのは自分の身に取つては光榮極まりなく聖恩の無量に感泣する所である

▲一言にして盡す 御大典御式の御模樣は一言にして盡して居る曰く『莊嚴』これだけであつて其の餘は筆舌の能く及ぶ所ではない、僕は御大典御終了の後東京の方へ行つた東京には僕の父母が居る久しぶりの歸省で大いに乳を呑んで來たわけだ何時まで經つても親父は怖いものだまた親父の方でも何時になつても子供扱ひにするので恐れ入つて終つた、餘り窮屈なので七日間ばかりで匆々に膝下を辭して歸つて來たが、東京は恰度政治のシーズンになつた上に大觀艦式やら觀兵式やらで非常な人氣立ちであつた

▲東京で劇場巡り 何に東京即今の政況とかそんな事は僕等の餘り立入つて考へるに及ばぬ事だ、デ僕は東京に居る七日間に三日腹を痛めて寢て四日は帝劇や明治座めぐりをして居つたよ華やかなあの劇場に這つて絢爛たる藝術に醉うて居ると矢張り東京は好いな

▲藤田總監の皮肉 百濟の古都扶餘よりを僕がいくつもの新聞へ書いたので僕が朝鮮の田舍落ちをして居ると云ふ事が知人間に隱れもなくなつてね京都で前の總督府病院長藤田軍醫總監に會ふとね先生直ちに手を握つてね君は近來田舍者に爲つたつてね、田舍へ行くとあんな提灯持を書かなきやならぬかね』は皮肉にして而も極めて適切な批評だつたね。

◎釜山倉庫閑散
浦鹽定期航路の影響

釜山共同倉庫株式會社支配人野口氏の談に局外者より考ふれば近來穀物出廻の季節なるを以て倉庫界の繁忙季と思惟さるゝも事實は全く反對の趨勢を示し

▲倉庫業者にありては例年十一月より十二月の中旬頃迄は一年中尤も閑散の時季にて此の理由は今迄內地より若くは朝鮮內地に於て仕入れ預け入れ置きし諸雜貨類又は日用品類も正月用として年末賣り出しの爲めに皆庫出しする時季なるのみならず殊に今年の今日此頃は米價は日に〳〵上向きとなるより各農家は勿論商賈人も各自賣り方を急ぐ結果長期預け入れを爲す者なき上り益々閑散となるも本月下旬頃に入らば米價も稍や下向きとなるやも計られざれど此の種の預け入れの依托をなす者自然增加すべく又米春賣り出すべき吳服類又は諸雜貨等仕入れ物預け入れもあるべければ兩々相俟つて此に始めて倉庫界は繁忙季に入る次第にて

▲本年は昨年の今日此の頃に比較すれば幾分減少の傾きあるは前にも述べし如く此頃の米價騰貴に起因する事は云ふ迄もなく殊に本年は朝鮮浦鹽間の定期航路開けし爲め從來常港を經て北鮮若くは浦鹽方面に輸出さるべき諸貨物は一度釜山を經由し船腹の都合上入庫したる上更に輸出されつゝありしを以て諸貨物の出廻期に於ては釜山に於ける各倉庫は繁忙を極むるを常とすれど本年度よりは前記の如く浦鹽定期航路の開けたると共に各沿線奧地より出廻の物貨にして浦鹽方面行きの荷物は直ちに定期航路により廻送さるゝにより斯の如き減少を見たる次第ならんと

◎海草組合創立
第一回協議會

釜山海草商間にては久しき以前より組合組織の計畫中なりしが一日午後六時より水產組合に於て第一回創立協議會を開き大原水產組合長久納同組合技師、上野同技手、石田府勸業係、岩崎新平、久和九助、高山右太郞の諸氏來會し第一回の協議を遂げ近日中更に協議會を開く筈なるが同組合の目的は海草の品質改良共同販路擴張等なりと

◎連絡船積荷 增加

京釜沿線各地方產出の米及び大豆等の新舊品近來出廻り著しく增加し大阪神戶及び山陽九州一帶の各方面移出のものに有りては關釜連絡船の便に由るもの頗る多く高麗新羅弘濟等に在りては每航米大豆を合して約五六千叺より一萬四五千叺に達し對馬等に在りても猶每航二三千叺を下る事無く輸入貨物に於ても仕入時季なるを以て每航海積荷頗る多く故に近來强風類々と襲來するに係らず船足重き爲め動搖少なく航海極めて安全なりと

◎地方費豫算 平南

大正五年度の平安南道地方費豫算は總督府の豫算確定の上ならでは其最終の決定を見得ざるも既に豫算編成の調査期に入り加ふるに多忙を極めし共進會事務の跡始末も亦終りを告げしに付第一部各係に於て鋭意調査進行中なるが其の出揃ひを見るは明年一月に入るならん

◎米穀實收調査

平安南道の本年米穀實收調査は目下各郡に於て進行中の由にて一月末日迄に道廳へ提出せらるべきが米質に付當局者の談を聞くに本年は旱年の方なりし故水田產出の米は品質極めて良好なるも旱田の產米は水量不足等の爲め米質良からずと

◎釜山穀物市場旬報

十一月二十日より三十日に至る釜山穀物市場賣買總出來高は三萬千五百四十八個にして前旬に比し米五千四十六個及び雜穀三百十個を增加し大豆千三百三十個を減退したり

▲米 本邦生絲並びに諸株相場の好況に連れ一般物價騰貴し正米の如きも割安とて一般の買氣進み來り期米は鐮入れ不足を唱へ旁々賣手なく何れも買煽姿にて從つて當地正米界も每日一般の買進みありて愈々上向き引締りを呈し前回に比し約一圓高也

▲大豆 滿洲大豆の好況なるに連れ本邦よりの買注文多くして手堅く一圓高なり

◎新兵の釜山上陸期

本年十二月一日入隊すべき金澤第九師團步兵及び特科隊の壯丁は左の日割を以て釜山に上陸する由

▲十三日釜山上陸 步兵三十五聯隊(龍山)八百十七名、同特科隊四十四名、十八日 步兵第六十九聯隊(平壤)八百七十八名

◎全南莞島の海苔 全南莞

島郡の東京式海苔製造は昨年に於て四百萬枚を製出し(內六十六萬枚は傳習修得生の製造高)たるが今回修得生等主體となりて海苔製造改良組合を組織すべく道廳より地方費補助を與へられ十日より從業の筈なりと

◎全南優良麥普及 全羅南道管內の本年麥實收額は百萬石を越え豊作なりしが其の作付反別は九萬一千四百七十四町五反に達し前年より一千四百七町四步を增加したり而して優良種坊主倍取三重等の種類は漸次に普及し之れが作付反別四千五十六町步收穫六萬四千二百八十七石に達したるが昨年より增加せし作付反別中に於て一千二百〇二町には全く優良種を植付けられしものにて其の普及率八割五分に至りたり

◎李完用伯來る 李完用伯は令息の東京遊學見送りの爲め二日午前五時四十分釜山著鐵道ホテルに休憩同十時三十分歸京せり

◎小原長官歸任 御大禮儀參列の爲め東上中なりし忠南小原道長官は二日午前十時釜山發四日午後七時無事歸任せり

◎鈴木長官出張 鈴木忠北道長官は兼て新築工事中なりし永同小學校落成式に臨場のため道學務主任立野道書記を隨へ二日自動車にて芙江經由永同に向へり

◎憲兵の異動 既報の如く淸州憲兵隊管內滿期除隊者は大西一等計手以下十二月一日共れ〳〵歸鄕したるが憲兵軍曹島山正二伍長鈴木万十郞及び上等兵加藤常吉の三名は特に善行證を授けられたり尙之と同時に上等兵より伍長に四名伍長より軍曹に一名進級者ありて各分隊とも多少の轉任異動ありたり因に補缺憲兵は十日頃內地より著任の豫定なりと

◎關釜連絡船々繰表

十二月上旬關釜連絡船々繰豫定如左

	高麗	新羅	壹岐	對馬	弘濟
三日	汽罐掃除	朝著夕發	夕著	朝發	……
四日	同	……	朝發	夕著	朝著夕發
五日	同	朝著夕發	夕著	朝發	……
六日	同	……	朝發	夕著	朝著夕發
七日	同	朝著夕發	夕著	朝發	……
八日	朝著夕發	……	朝發	夕○著	朝著夕發
九日	……	朝著夕發	入渠	朝發	……

朝發午前六時四十分、夕著午後八時三十分、朝著午前九時、夕著午後九時四十分、○印は午後九時十分釜山著にて蒲鮮直通急行列車に接續し臨時貨物便は午前八時入港午後八時出帆にして旅客を搭載せず

泌尿器病 入院隨意(診察夜九時迄)
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 軟性下疳 皮膚病
專門
永樂町二丁目 光金數會附 安部醫院 電話一九四一番

◎須田憲兵中尉視察 京城憲兵隊司令部附須田憲兵中尉は去月三十日淸州通過忠州方面に於ける衞生情況視察に向ひたるが二日淸州歸著淸州旅館に投宿し三日淸州の衞生狀態を視察し四日歸隊の筈

◎道書記の出張 忠北地方係道書記山口氏は洪道書記と共に永同沃川郡各面事務視察のため二日出張したり

◎淸州自動車の割引 淸州鐵居自動車部にては開業三周年自祝のため十二月一日より淸州鳥致院間に於て八十錢を六十五錢に淸州忠州間にて三圓五十錢を三圓に賃金の大割引を開始したり

◎丸木呉服店の開業 今回本町一丁目元郵便局前に開業し專ら秩父銘仙並に京撚を各原產地より直移輸入をなし非常に格安に販賣する由開業披露として來る五日より三十日迄景品附大賣出しをなし買ひ求め代壹圓以上に對し景品券一本を進呈す景品は桐簞笥大姿見羽二重肩裏等數千點にて一本も空籤なしと

◎連絡船上陸客 二日午前釜山入港弘濟丸一二等客左の如し

(一等八名)山邑敬治郞、鈴木敬吉、同亥子、小原新三、同六子、外國人二名(二等二十二名)松茂宮崎雄三、田部郁一郞、宮島齋、西村久成、同英二、下川敦、同喜雄、小笠原陽輝、森六治、田賀代太郞、篠原捷、木村、岡篤與、同榮子、重野秀夫、山中友次、山添一郞、中村とく、中村まつ、同かず

二日午後入港對馬丸一二等客(一等二名)米國人二名(二等七名)西野末吉、宮治佐平、足達重次、上田民藏、足達彥五、西垣與吉、吉友不二太郞(三等四百十一名)

商況

東京期米特電

二日前場	一月限
寄付	一五、五一
高値	一五、五一
安値	一五、三二
止め	一五、四三
後場	缺

深川在米特電

二日現在高	
朝鮮米	三〇、四八六
臺灣米	六八、三〇八
內地米	一五四、八一八

大阪三品特電

二日前場		
十一月限	一二二、五〇	一二二、二〇
十二月限	一二二、四〇	一二二、四〇
一月限	一二三、五〇	一二三、四〇
二月限	一二四、八〇	一二四、六〇
三月限	一二五、八〇	一二五、四〇
四月限	一二六、九〇	一二六、三〇

△二日後場	寄付	大引
十一月限	一二〇、七〇	一二〇、五〇
十二月限	一二一、八〇	一二一、九〇
一月限	一二三、〇〇	一二三、〇〇
二月限	一二四、一〇	一二四、二〇
三月限	一二六、三〇	一二六、二〇
四月限	一二六、三〇	一二六、一〇

大阪期米特電

△三日前場		止め
當限寄付	一四、七四	……
中限寄付	一五、二二	……
先限寄付	一五、六四	……

朝鮮物產特電

變動なし

雜報

◎洋紙の前途 十一月の十二ヶ月間に於けるスカンヂーピア產パルプの輸入額は概算六千噸を下らず向今後順次に輸入せらるゝ筈の約定品も四ヶ千噸に上れるが故に是等の供給高に一ヶ月の生產額約千二三百噸の內地產パルプ及び各地製紙會社の持越品を併せるときは本邦製紙業は明年上半期間の原料には不足せざるべき振合ひとなり各製紙會社の立場より見れば各社特殊の事情に基き原料補給支持力に甲乙あることは勿論なれども大勢より見るときは過き將來はいざ知らず

眼前の原料問題 に就ては最早大いに顧念するの必要なきに至れるが製紙價格は恐らく是れによりて引緩む可き見込み立たずして却て原料採算を以てせば尙一層の騰貴を招かんとする形勢なり即ち近來輸入せるパルプの原價は白物九錢乃至十錢未漂物六七錢見當を基算とせば印刷用紙の如き現在各社の騰貴價格に比し尙二割半乃至三割高の騰貴餘力を示せる有樣なれば原料高に應ずる爲め製紙會社は明春を待たず

年內中に又復値上發表するに至るべく特に印刷用紙及色紙は近々中に一割乃至一割半の値上實行を見るならんと

◎糖粉の暴騰 下關情報によれば糖價は數日前來俄然騰進的傾向を呈し突飛的狂熱相場を現出せんとするの模樣ありて

斯界は稍混亂の狀を呈せんとしつゝあるが今回の騰貴は過日來外館の常に强調を持續せるに內地は一向に其波動を感ぜず只單に米價安一點張に

軟風吹捲くり反動に加へて聯合會の協定有利に成立すべきを氣構へ且米價の前途の需用增加を豫期せしめ買氣勃騰したる爲めなるべく蓄積分蜜糖十六圓二三十錢精糖は賣り物拂底して廿一圓五十錢唱へなり

製粉も亦小麥原料拂底と相俟ちて二等品二圓六十錢相場也

◎粗布賣止め 金巾市況 中央粗布は目下道りの二圓高は昨報の通りにして目下三エー九龍の兩票は品切れ唱へ居れる際とて現在取引の行はれつゝあるものは福富票のあるのみなりしが今朝之も

俄然賣止めたる爲め亦此處一兩日形勢傍觀の態度に出でんとする模樣なり要するに綿布界の成行きは昨報の如く眼先更に新因を顧みざる兆候ある上當市場今日迄の取引價格は投物崩れにより非常の割安に陷りし關係上現下の大阪市況に比して

尙六七圓方の下値なる(を)叩きつゝある事とて三エー九龍の品切福富の賣止めといふも之畢竟

相場釣上の準備策なるが如く結局は此商更に値上げを市價に示して賣出しを開始する事となるべし

◎牛皮は不勢 大阪市場は近來支那皮の輸入夥しき爲め同地の昨今は非常の商閑へに報じつゝあり爲めに同市場の不活潑なるは自然の勢ひにて關米相場も次第安の步調となり此所移出口は幾分商談困難なるが如し當地現下の出廻りとして時期柄相應の賣物現はれつゝありと雖之亦人氣の不勢に行惱み勝なるが弗々の出來値は中正味の五十八圓大皮六十圓見當にて前報後三圓內外の低落を示せり

仁川米豆取引所仲買人
海岸町
(イ) 今村覺次郎
電話長三三七、三六八
電略(イ)又ハ(イマ)

◎正米氣强し 正米は期米の騰貴に伴ふ內地正米商による移出注文の驅輳を動機として輸入不足川崎通其他諸種强材料の續出に連れて前月末米穀上りの奔騰を告げ地場精米所は各自多數の內地注文を抱き最近に至り船便不足さ俟つて今尙新期注文に應じ能はざるの盛況を呈しつゝあり此間に於ける相場の成行きは前月十七日の改良玄八圓七八十錢の出を最低値段として今日にては之と同等の物とすれば十一圓或は十錢臺に取引行はれ當時より約二圓四五十錢方の暴騰を示し之に伴ふ精白は十一圓六十錢より現今十三圓六十錢唱へとなり原料に比し兎角上げ不足の觀あり本月に入り期米の反動に連れ一時ボンヤリ氣味を呈せしと雖今朝の定期跳返しにより又々人氣を强むるに至れり何分滾の如き出穀を見ざる今日とて眼先は封兵押目らしき安値なかるべく本年一杯は强氣一方に經過し然して豫安相場を現出するにあらざるか

下關相場

▲朝鮮白米も益々高し 引續き相當に出廻あるも內地期正米の活況を反映し產地の如き入電殊に高値を傳へ居る杯各米主の賣惜み强きに依り益々市況高く之れが弗々の出來値は左の通りにて其後の輸入は五百八十五叺と外に百五十叺

▲大豆は益々狂騰 其後太田物三百十六叺沃川物九十叺宮川物二百叺永洞產二百五十七叺の輸入ありしが米價高に加へ昨紙已報の如き事情の下に各荷主の藏拂に努め居る爲め昨今狂騰相場を演ずるに至りし之れが成行きは左の通りにて前報後相當の手合せ行はれ眼先き尙ほ强含みの豫選

▲小豆も暴騰 前報後北海產二百俵の到著に過ぎざるのみならず米價を始め他品の齊しく活況を演じつゝある折柄俄然買觀きの現はれたるに連れ其後相場の暴騰を促し北海四等品の如きは今朝十三圓臺に出來したるも尙十三圓二三十錢より五十錢臺にて相當の手合せあり而して强氣筋は早くも十四圓相場さへ唱へ居る向きもありし現狀なり

△朝鮮一等白米	十四圓三十錢
△同(當用)	十四圓四五十錢
△同二等白米(當用)	十三圓八九十錢
△新義州大豆	九圓四十錢
△倭館大豆	九圓三十錢
△長湍大豆	九圓七十錢
△永洞大豆	九圓五十錢
△太田大豆	九圓五十錢
△宮川大豆	九圓四十錢

顧客本位正確神速
仁川米豆取引所仲買人
サンビキ 仲買店
電話四四三三番

各地商況

◎木浦(一日の穀物) ▲米況(午前沸騰)期米の高騰に愈々沸騰し嫋て相場は端が上に狂奔したれど一般不足なる市場は徒に周章し頻りに一二立ち後れたる商店昨來注文入電に高値走り買ひ結果出場漸く堅實ならず各店共商談の共同騰時の餘裕を見ず大勢の流るゝ所遂じ迫けれども一圓五十錢上格優等は一杯の新値を出し種は[illegible]

京城正米

米高漸く七八百に達するに過ぎざる爲二圓十五錢より二十錢との高値を唱ふ▲午後は入電二十丁方の低落を告げたる爲前場反省の氣配以て各商人手堅く氣構へたり▲本日出來高は八島より桂山へ上物五十錢中上より森田へ合格米百十錢と開けり▲當市場昨今既に弗々上格米の出來を聞き同時に出廻りを見るに至れるが各商人共近來檢米の手心知れて極めて順調を示せるが故に追々豐の出盛りに近く市場の品物潤澤を告げ取引旺盛となるべし

正米界も之が刺戟 期米は新甫發會の高値より反動として一旦氣崩れを呼びしも今前場は再び氣勢を盛返し仁川十一圓メ五錢の張話ありしと共に一寸ボンヤリ氣味となりしも正米界も之が刺戟を受けて氣直りを呈せり午前中は賣物頗にて手合せなかりしも氣配としては前日の引胞みし丈戾すならんかといふ

南大門の廻米

烏山籾	九八叺	水原白米	一九叺
烏山白米	三八叺	汶山白米	三一叺
西井里玄	八四叺	水原籾	八〇叺
天安籾	一二九叺	天安白米	七四叺
天安籾	一二七叺	天安籾	一五叺
新體玄白	二六叺	烏山白米	二八叺
水原白米	四一叺	烏山籾	七七叺
烏山白米	三六叺	金村白米	四四叺
全義籾	一二叺	金泉胡麻	四四叺
水原白米	二五七叺	全義白米	七一叺
水原白米	一九三叺	土城白米	二八叺
烏山白米	一四五叺	水原大豆	三二叺

仁川現物市場

▲入津入船十六七艘あるも前夜降雨にて陸上げ出來ず氣配は保合の人氣

生魚市場

本月に入りてより著荷昨今多く且つ需要は餘り良好といふを得ず從つて人氣不勢にして一般相場は低位を保ちつゝあり日の丸市場平均出來値左の如し

タイ一七、紅小ダイ一三、チヌダイ一一、サワラ一二、ヒラス一〇、ブリ一〇、ヒラメ七、カレイ七、ハモ七、アナゴ六、サバ六、アジ七、クルマエビ三二、セエビ一五、ハゲチ二〇、サヨリ一〇、メゴ六、甲イカ七、コノシロ六、サゴシ一〇、アワビ一五、コノワタ四〇、コチ六

海岸町 吉 行賣仲買店 電話

仁川期米

▲三日前場 大阪前寄十五圓六十四錢の入電當地中限十一圓丁度と昨日より九錢安の十圓九十錢と押して引先十圓八十七錢と同事に寄付たるも買物多く每に奔騰し遂に九十錢より十一圓〇七錢と沸騰したるも目先利喰に九十七錢と押し返したるか大阪三節七十錢と高移りに再び十一圓〇九錢と引けたる折柄

大阪八節五十錢と暴落の移り賣物に期は九十四錢迄崩れて四節を了りたるが五節に至り八十六錢より一錢と瓦落し五錢と返し四錢と大激戰裡に散會

▲三日前場 [illegible]

市場零聞

▲前場の大混戰 [illegible]

▲前場大變動 大阪の下寄か正米界の情勢より見て割安なる關係上買受けたるも大勢に於て物多き爲 下鞘 ... 人氣一變㊀㊃其他とは賣向ひたるも摩擦に上伸遂に十一圓〇七錢迄騰貴し今一段上進せん形勢なりしも目先利喰賣多く九十七錢と押したるが大阪暴落を受けて十一圓〇五錢返したる折柄大阪暴落移りに㊀よりの賣叩き其他より買向ひたるも九十四錢と崩れ餘勢八十二錢と暴落し四錢と散會したり市況は

値頃觀の買物に暴騰し大阪安受けに暴落したるが不知今後の成行は如何

▲人氣變動す 別項の如き事情にて前場は頗ぶる人氣變動し如何にも餅搗相場の本領を發揮したり併し大體相場の上に於て正米より見て大阪相場より見て如何にも割安であるか

今後思惑買續出せん模合である思惑買成功する哉將先安理想買勝つ哉は今後の問題である今假りに仁川の改正標準米と大阪の標準米に就き當業者の談を聞くに大阪の標準米より仁川標準米は一圓二三十錢の格落との說之に見て

三圓四五十錢の鞘は至當との事であるが仮報の如く大阪及び內地各市場は

先高理想買旺盛なるに反し仁川市場は先高の念慮よりも一般は

先安に偏し居れるより目下の如き四圓七八十錢切の大下鞘を附し居るは何時か朝寄せの時期到來するのである其何すり寄せ來る事は今後の成行に徵する外なし

仁川米豆取引所

三日の二月限

前場	
寄付	十圓八十七錢
高値	十一圓〇四錢
安値	十圓八十二錢
引メ	十一圓〇七錢
出來高	一萬九千五百五十石

平均値段	
一節	十圓九十六錢
二節	十一圓〇六錢
三節	十一圓〇三錢
四節	十一圓〇一錢
五節	十圓八十四錢

	買賣取組高
十二月限	一萬四千百石
一月限	三萬九千九百石
二月限	九千二百石

二日後場出來値	前日比較
一〇七四	一三高
一〇八七	一三安
一〇九〇	一七高
一〇七三	一九高

北濱だより

連日人氣の剛勢を示し諸株又暴騰み累日殊に月末棒尾大勢は愈々人氣の頂天に達したるもの〻如く市場は遂に過延未納の爲め新甫立會は午前十一時に遲延するの止むを得ざるに至れるが開場と共に當中兩期は手仕舞ひにて相當の買物出で案外穩和の步調を呈し新甫は指定村に値鞘を以下字治に至る迄は知つて鞘綢げ大示すの商狀なりしが東新に至り八割內外の上鞘を示し當株も當中兩限左程の突飛も無く鞘過せるが愈々市立仰に入るや市場又復熱狂を加へ踏場成行買ひのみにして一枚の賣物も無く或は一百四四百圓と亂手をすらんとする形勢なるより高場に打ち揃ひて監視せる重役等は俄かに協調を遂げ一時立會を中止するに至りしなご非常の混亂を極めしが株界途囘の沸騰が既に頂天に達せしや將た未だ中途にして更に一大奔騰みを示すべきかは甚だ疑問なるも今次の好況原因が資本の潤澤に職由するは勿論にして戰亂の好影響なりとせざるべからず左れば戰亂の消長は又株式界の興廢と正比例すべく從つて戰亂が前現在の如く不進捗を示せるより推せば前途の遼遠なるを斷ぜざるべからず左れば株界の活躍は尚ほ前途にあるものにして目下の相場は祖として突然多少の低落は免れざるも第二の暴騰は今回に倍加すべきを豫期せざるべからず之人氣の沸騰する因由にして賣方の逡巡する處なるが市場漸く紛擾を醸すに至らば人氣又も自然沈靜に歸すべきかと云へり

齊家處世の要道 趣味修養の經典

第十二版
生活と處世
□蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、當世に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。

第五版
處世小訓
□蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に微々たるものに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の能く爲さゞるべからざる所を力說したる處世實學の眞髓也。

第十三版
家庭小訓
□蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
子女敎育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家社會に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭社會に必須なる百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版
文學漫筆
□蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は敎育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に觸るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版
文學斷片
□蘇峰學人著 定價金二十錢□ 郵稅四錢
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するものを網羅せり。斷片と稱すれども、每編悉く是れ精金美玉たり。

第六版
漫興雜記
□蘇峰學人著 定價金十五錢□ 郵稅二錢
昔は詩人謠うて曰く『詩多漫興無佳句』と然れども人の肺腑に徹するの天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを瑰麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

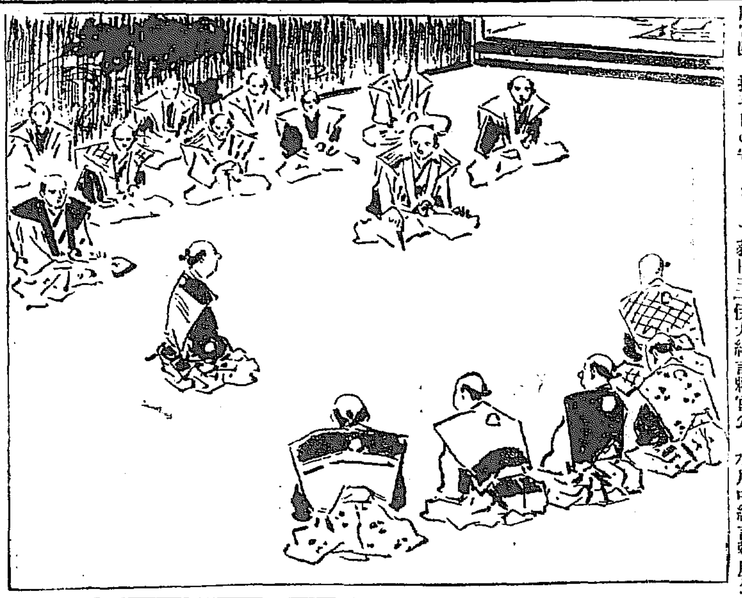
大賣捌所 ▲到送料本社負擔▼
京城太平通一丁目 京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

越後大評定

第六十二席　早川貞水口演

福井城の叛旗

是に於て小栗美濃守は、御家臣一同に對ひ『各位方も只今御聽きの通り御幼君籠城の御決心相成りたるに就ては御家の興敗こゝに在り、必ず未練の御振舞なく、決死の覺悟あらせられたく、就ては只今この美濃、即時御手配りに及ぶ、左樣御承知あれ先づ大野口の堅めとしては山田大膳、安藤主計、大手口の守りとしては、大熊帶刀、岡島壹岐、御城中御天主の守りとして水谷丹波、青木新兵衛出丸の守りとして山田大炊助、海老原常陸、搦手口の守りとして荻田主馬、多賀谷豐後、二の丸の守りとして黒田大學、跡部掃部、三の丸の守りとして佐久間上總介、安養寺三郎左衛門、人質廓の堅めとして梶原能登、落合美作、本丸は總大將仙千代丸殿、勝姬君、軍師は軍學の達人鈴木丹後重廣、總指揮役は失禮ながら此小栗美濃守、采配を御預かり致すで御坐らう』一同の者『大將に代つての御下知、確かに承けりまして御坐る、此度こそは粉骨碎身、必ず最後の御奉公仕るで御坐る』と引受け、銘々持々を堅めることになりましたから福井城十二箇所の口々は、晝夜とも人數一組五十人と定めたることにて少しも油斷なく嚴重に見張三國峠その他海上を立切り江戸將軍の討手は、定めし日本國中の大軍なるらんも、何條捍ることのあらんと待構へ、此趣、追々關東へ注進、櫛の齒を挽くが如くで御坐いますから愈國家の大變出來なしたりと、江戸の騒ぎは大變、越前家が籠城なさるとなれば、西國の大名必ず共に內通したることにて、海上の便を藉り兵糧、彈藥、その他武器等を送るに違ひない、然すれば天下の大亂に爲らんも知れぬ等と、針小棒大の說が擴りましたから、江戸市中の騒ぎは大方ならぬ、是に於て江戸表御城中大廣間に將軍家光公御出座、左の方には前將軍大御所秀忠公、一段下つて右の方には尾張大納言義直公、紀伊大納言賴宣公、水戸中納言賴房公の御三家御揃ひになる、それより左右兩側には十八松平、七大久保の面々、御譜代附悉く詰掛けました、一際目立ちしは、御大老伊井掃部頭直孝公を始め御老中土井大炊頭利勝、酒井讚岐守忠勝、青山伯耆守忠俊、阿部豐後守忠秋、御側御用人堀田加賀守正盛、牧野佐渡守、若年寄森川出羽守、內田信濃守、板倉內膳正、松平伊豆守、御留守居頭紀伊守、大留守居青山大藏大輔、留守居年寄日下部大隅守、杉浦內藏助、寺社奉行堀東市正、安藤對馬守、大目附秋山修理亮、柳生但馬守、町奉行堀式部少輔、神尾豐前守、島田彈正忠、加賀爪民部少輔、御勘定奉行松平右衛門大夫、曾根源左衛門、大番頭松平大隅守、水野對馬守、御書院番頭朽木民部少輔、稻垣若狹守、御小姓頭丹後守、內藤出羽守、其他芙蓉間諸役人謹で出仕に及び、征夷大將軍の御前に於て軍議評定を開かれる



年末の贈答品には
實用向きの
珍柄豐富
ちゝぬ銘仙
本町 京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番

演藝案內

大正館（櫻井町）電話八七三番
十二月二日より新寫眞提供
●實寫伊太利キヤペ島の絶景●滑稽愛器が馬▲傍圖パテー會社傑作天然色寫眞○社會劇の明星最後の謝罪（原名人非人）全五卷文明の敵暴漢無比な□水芳村步郎原田織洲究代說明▲尾上松之助一座大車輪出演○舊劇伊達政宗全三卷六十八場●實劇消火器▲日活撮影所傑作○新派大悲劇新橋情話全二卷二十八場名門の淸風新橋に在纏る一江戸…名二世に取し數奇の運命は彼女の前途を弄び…盟の鉄斫色電の呪阻より一轉戀人の誤解と最後の大團圓となり哀れ思わわ人と月下波に遇ふ可憐の名妓鳴呼

黃金館（黃金町四丁目）電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

龍光館（龍山停車場前）電話（龍山）四一番
十二月二日より全部差換
●歐洲戰亂書報白耳義國…軍犬の活動●滑稽半日ホテル●滑稽ルニーの人命救助泰西正活劇酒の罪全三卷●來れり天活會社が最近の大作品にして三部至る所に於て大好評を博したる新劇實錄信田狐全四卷卅八場は親しくば聞き○…白狐恩に報ふに葛の葉姫の姿を借りて阿部保名と同棲し童子を儲くそも此童子長ずるに及び大內に仕へ惡人芦屋道滿を亡ぼせしと云ふ我邦に於る陰陽大家阿部晴明の實傳御客樣の御便利な回數券發賣仕り候音樂隊の御聘に應ず申込は電話四七七へ

浪花館（明治町）電話二六〇番
浪界之曉將 京山恭爲
浪界之若手花形吉田若合同春一座
右兩師共大阪直行新登場にて當る四日午後六時より開演仕候間賑々數御來館之程願上候

壽座（本町）電話五七八
十二月一日より新寫眞取替へ
▲舊劇『め組の喧嘩』活劇 上中下 三卷
▲尾上松之助一座大車輪の
▲新派劇『新夏木立』上中下 三卷
▲松三之助一派
▲米國アメリカンフィルム會社
▲泰西活劇『豪勇』上下 二卷

御成座（御成町）電話二九一
八十回目替藝題
一びわ歌 全冊

壽館（壽町）電話一〇五〇
浪界の女傑女雲右衛門來る
十二月三日四日目
▲千兩幟（つゞき）▲芦の里錦▲佐賀の夜櫻（つゞき）▲木山竹子▲小田原騒動（つゞき）▲吉住美代子▲更科勇婦傳（つゞき）▲立花文子▲曾我夜討（つゞき）▲伊藤孫兵衛女雲右衛門▲義士勢揃ひ（總掛合）番外▲水戸黄門記（つゞき）
▲浪界花形〇〇孚春月
▲入場料一等金二十錢 二等金十五錢 三等金十錢

九星

十二月五日九星　舊十月廿九日 庚午　本命七赤　西　危　友引

△七赤 何となく氣忙しき日務めて新事見合南方は吉△八白 吉辭の日轉居開業入學…△九紫 萬吉△一白 健全の日轉居旅行商業職業…△二黑 大利の日轉居…△三碧 …△四綠 一得一失の日なれど…△五黃 …△六白 …

乾海苔 上十枚四十五錢 中十枚三十五錢 並十枚廿八錢以下
味附海苔 壹円七十五錢 五十錢 四十錢 卅五錢 廿五錢 廿錢
燒海苔 五十錢 廿五錢
海苔佃煮 三十錢 二十錢 十五錢 十錢
東京日本橋通り二丁目
海苔御商 柳屋
電話本局 六五二 二七六一

景品附
正月餅賃搗廣告
出宅搗でも一斗五拾錢
●開店披露として
新案特許家庭必須品進呈す●十日迄
四十錢迄の御注文申受本日より以外取消す
壽館前 商號登記 乃木餅屋 電話二七五二番

朝米
㊣ 橋本猶作
我宮之寶無代進呈
商會能文は紹介を要せず
大阪堂島米穀取引所仲買人
電話長東 三五〇 三五一 三五二
振替口座大阪二四二七

米國ビクター會社製 トラップ
獸類捕獲器
壹個 壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ取器械
仁川濱町 京日仁川代理部

大阪市西區新町通二丁目
本家 田知本和三郎謹製
各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番

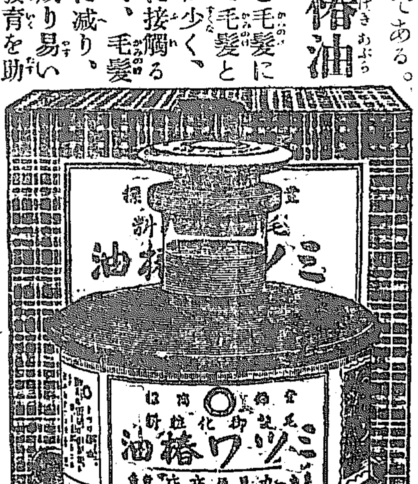
熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髪の衞生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

○ミツワ椿油

定價 小壜……金貳拾錢 中壜……五勺入……金參拾錢 大壜……壹合入……金五拾五錢 詰入……五合入……金貳圓五拾錢

○ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮なる椿の實を精選して、特に內地に取寄せ、外皮を悉く取去り、冷壓法で少しも熱を加へずに搾取したもの故に、厭ふべき臭氣を發する遊離酸や、含窒素物等を含んで居ない、新鮮純良な椿油である。

○ミツワ椿油を平素用つてゐると毛髪に滲込む力が強いので毛髪と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髪に接觸する結果、漂白と云つて、毛髪の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、毛髪の發育を助け艶を美しくし、凝つて臭氣を發することも無く、毛髪の發育を助けて、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。



（現品縮寫圖）

新案特許＝純良護謨製　大阪 宗田商店鑑製

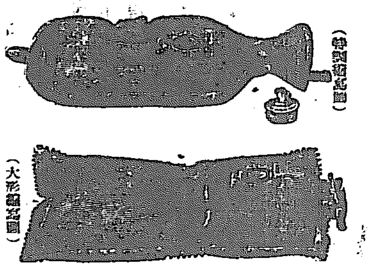
○ミツワ水枕

定價 大形 金壹圓 中形 金八拾五錢 小形 金七拾錢 特製 金參圓

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものであります＝學生が勉强して疲れた時などは水枕をすれば忽ちに元氣を快復します。

○ミツワ水枕は枕の內に割壁を設け、中へ氷水を入れると自然に凹字形になるやうに製してあります、左右に搖れたりチャブチャブしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。締金も又、多年苦心の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。


（特製縮寫圖）（大形縮寫圖）

賣捌　全國到る處のミツワ石鹸取次店、若し最寄に取次店がなければ本舗へ直接御注文あれ…代金引換小包郵便にても…一個にても御送り…（市內は配達）

○丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目 問屋 石鹸、香粧品、小間物問屋
電話浪花四四八・四四九・四五〇番 振替口座東京七一〇番

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引にて通路切符發賣仕候
○外航所關航路（浦津航路を除く）は當社航路の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行		
宮島丸	十二月四日	午後五時
漢城丸	十二月七日	
汕頭丸	十二月十一日	出帆
○木浦、釜山、長崎行（△は鎭南浦に寄港）		
×△安東丸	十二月九日	午後二時
×天智丸	十二月五日	出帆
○鎭南浦、大連行		
×安東丸	十二月五日	午後二時
×天智丸	十二月十三日	出帆
○木浦、神戶、大阪行		
潮州丸	十二月 日	午後五時
○群山、釜山、橫濱行		
△千珠丸	十二月十九日	午後四時
△チヨイサン丸	十二月八日	出帆
○大連直行		
△千珠丸	十二月十四日	正午出帆
△チヨイサン丸	十二月三日	
○清津、浦潮行（元山出帆）△は城津、西湖津に寄港浦汐不寄港		
地久丸	十二月十八日	午後三時
▲神宮丸	十二月八日	出帆
大智丸	十二月十四日	
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）		
基隆丸	十二月四日	午前十時
新高丸	十二月十七日	出帆

御注意 ○朝鮮沿岸航路及び浦潮航路の旅客は…○×印は一等客御斷り△印は…

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行		
秀吉丸	十二月 日	後四時出帆
君が代丸	十二月 日	後四時出帆
神代丸	十二月 日	後四時出帆
大有丸	十二月五日	後五時出帆
○第二太湖丸		
○群山、大阪行		
土海丸		

仁川海岸通二丁目 商 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行		
高砂丸	十二月十八日	正午出帆
三河丸	十二月十一日	正午出帆
○大連、太沽行		
相模丸	十二月廿七日	正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部

朝鮮郵船

本社 電話長一九五二番二三番
鐵道及社外船と荷客連帶聯運の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願ひ候
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話長一一一七〇）

全羅丸	十二月十四日	
京畿丸	十二月四日	
黃海丸	十二月八日	
咸鏡丸	十二月十八日	
門司より釜山各港寄港雄基間ごと		釜山發
穩城丸	十二月九日	
昌平丸	十二月三日	
鏡城丸	十二月五日	
元山より各港經由雄基行		元山發
平壤丸	十二月十三日	元山發
忠清丸	十二月五日	元山發
城津、淸津、浦鹽行復航釜山經由門司		
永興丸	毎月廿八回	元山發
北久味、五班浦行又は長崎延長		
濟島丸	十二月四日	釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行		
江陵丸	毎日	（釜山浦項）發
義陽丸		
長生浦、方魚津寄港		
三浦丸	十二月四日	釜山發
長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行		
海州丸 巨濟丸	毎日	釜山發
統營丸 慶寶丸	毎日	釜山發
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）		
順天丸	三日目毎	木浦發
各港經由麗水行麗水より釜山行に…		
慶興丸	十二月七日	木浦發
一、各港經由濟州島行（西廻）		
公州丸	十二月二日	木浦發
一、南多島海列島行（月三回）		
公州丸	十二月 日	木浦發
一、各港經由濟州島行（東廻）		
崇信丸	十二月三日	仁川發
海州他各港經由、鎭南浦行		
江原丸	十二月七日	仁川發
芝罘、大連、靑島行		
麗水丸	十二月六日	仁川發
晋州丸	十二月 日	仁川發
各港經由木浦行		
全州丸	毎日午前	仁川發
南陽丸		
江華島、喬桐島、海州行		
平安丸	十二月十九日	群山發
	十二月六日	若松發
往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、二木浦、群山行		

共同汽船仁川出帆

第一共同丸 芝罘、大連行	十二月三日	午後二時入
	十二月五日	午前九時出
外海に於て海上の…		
第三共同丸	十二月四日	前八時出帆
城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）		
第一阪鶴丸（元山出帆） 西湖津沿岸各港を經て雄基行	十二月 日	後九時出港

仁川代理店 本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部
元山代理店 …町（電話…）田口回漕部
京城代理店 …（電話…）河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 小倉丸	十二月十四日	後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸	十二月 日	後十一時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸	十二月 日	後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸	十二月九日	後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸	十二月 日	後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸	十二月 日	後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸	毎月二日九日十六日廿三日	午後十時出帆

釜山港立賣店 大池回漕部

明治三十九年八月十日第三種郵便物認可　年中無休刊（大祭日翌日休刊）

京城日報

四日朝刊（第二千九百六十二號）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢（郵税共）

發行所　合資會社京城日報社

仁川米豆取引所　開期米　[illegible]

財界時言（十二月三日）

○京城商業會議所の議員選擧期は、旬日の後に迫り、實業家有志の神經は過敏を呈し來る。逐鹿塲裡の光景は今より想像に難からず。知らず、中原の鹿は抑々如何の人々の手中に歸せらるべきかを。

○今回の總選擧は、新たに發布されたる商業會議所令の下に、新たに創立せらるべき京城商業會議所の議員を選擧するにあり。從て是迄の會議所及び其の議員とは全然面目を一新し、機關は完全に其職能を發揮し議員の資格は層一層重きを加ふべし。原頭鹿を爭はむとする人の熱度の高きも無理からぬ次第と申すべき也。

○來るべき選擧に候補者たる人の顔觸れを拜見するに、誠に猛者揃ひにて、お歷々揃ひなり。經歷識見難癖の付け樣なき人々なり。是等の實業家が眞に京城の經濟界、否な朝鮮の經濟界のため、盡力すべく大に奮起せるは欣ばしき限りなり。黄白を散じて名譽は購ひ得べし。然れども單に名譽そのものを欲するに切にして之れに伴ふ責任を盡すの念にして薄からんには、馬子に衣裳と何ぞ選ぶ所あらむ。

○時代は新人物を要求して已まず。少くとも意氣の人、活動の人、温健の人、卓見の人ならば、何ぞ新舊の區別あらむや。殊に京城の商工界の過去及び現在の狀態に鑑み、公共的性質の商工機關の甚だ振はざるに鑑み、如何にしても覺醒したる人物の最も眞摯忠實なる活動を希望して已まざるなり。

◉狹義に京城と云はず、廣く朝鮮の經濟界の將來を思ふに、在鮮內地人の爲すべき仕事、計畫すべき仕事は實に多大なり。始政五年を經過して新たなる經濟發展の時期に入り、半島の事情は既に內地其他に周知せられし丈けに、一層嚴正なる批判の下に在りと謂ふべく、個人の活動、又は團體の活動は今後甚だ重要の度を加ふべし。吾人は商工機關たる商業會議所の職能が、爾今遺憾なく發揮せらるべきを信ずると同時に、益々新人物の出でゝ縱横に活躍せむことを希望に堪へざる也。

滿洲と圓金本位（中）

京城銀行集會所の意見

四、滿洲が我が勢力範圍地たる上は滿洲に注入せらるゝ資本は其財政的たると商業的たるとを問はず、我國を以て最とす。現在に於ても然り、將來は益々然らん、從つて滿洲が其資本の運用を爲し、且つ之に對する元利の償還を爲す上に於て、金本位制を採るは極めて必要のことたるべし

五、滿洲に於ける銀貨幣たるや、其他支那にかけると同じく、種類夥多に上り、且つ同一種類のものなりと雖も、其品位量目相同からず、又銀行劵の如き、其信用危弱にして、其價格變動常ならず、如何に支那人なりとは言へ、其授受の不便にして危險なるを覺知せざるはなし。思ふに結局此等の銀貨幣は單に一種の商品として存在し、而して價格及び取引の本位は、隱約の裏に我が圓金建となるに至るべきは自然の勢なり。

六、以上は滿洲自體の狀況及び其利益の上より立論したる意見なり。更に之れを我が帝國の對外政策の上より觀察すれば、滿洲を以て我が經濟的領土と爲すことは、現今の急務と爲す所、而して是れが目的を達する根本的方法は、即ち嘗て韓國に對し採りたるが如く、內地と同一本位の幣制を布くにあることは、確く信じて疑を容れざる所なり。

七、上記の理由により、滿洲の幣制を圓金本位となさゞるべからざること、蓋し對滿貨幣政策の根本義たり。而して我が租借地居留地及び鐵道地帶に對しては、法令上之れを實行するを得ることは論を俟たざるも右地域以外の滿洲にありては、我が國は支那に對して一種の協約を締結し、以て之れを實行するを必要とすべし。而して法令上に於ける本位の變更を遂行するまでは、官民協力一致して邦人の集團地を中心として、滿洲一圓に對して圓金本位貨幣の流通、及び圓金建取引の普及を計り、以て實際上に於て滿洲の幣制を圓金本位制となすことに最善の力を盡すを必要とするは論を俟たざる所なり

盲唖教育事業進展　卒業者悉く就職す

由來朝鮮に於ては盲唖者に對する特種教育の如き殆んど其施設を見ず、僅に平壤に於て外國人が布教の傍經營せるもの只一あるに過ぎずして鮮人は一般に盲唖教育の必要を認めざるが如く、盲者にして衣食足るの徒は終生徒食し、然らざる者は卜筮を業とし乞食の如く各戶に就きて施與を受け僅に生活を營むを例とす、稀に鍼治の技を習ふ者ありと雖も到底自活の資を得ること能はず、家運の疲弊と共に終に乞食の群に投ずるを免れざりしが如し、唖者は盲者に比し廣き職業の範圍を有したるも是れ亦云ふに足らず、斯の如く是等不具者救濟に對する特種教育は全然等閑に附せられ、之が施設として見る可きもの絕えてなかりしを以て總督府濟生院に於ては大正二年地を京城西部天然洞に選び當初の事業目的たる盲唖教育の事務を開始し之が準備を了ると共に生徒を募集して同年四月一日より新學期の教授を初めたり盲唖教育事業が前記の如く未だ鮮人間に重要視せられざりし而已ならず全然等閑に附せられたる現狀より之を見るときは同院に於ける此特種教育開始に際しては應募の生徒極めて僅少なる可きを豫想したりしも第一回に於て三十四名、第二回に於て二十一名の應募者を見たるのみならず各回とも相當の自費志願者を數へ、更に女子の志望者を算したるが如きは最も意外とする所にして本年九月十五日現在の生徒數は內鮮人男女を合し給費生三十二名、自費生十六名、總計四十八名を算せり

給費生は男女共全部寄宿舍に入らしめ食事、被服及び學用品等一切を官給し卒業後に於ける何等の制限又は義務を附することなく全然救の方針に之を收容せり、生徒の教育に就きては最も深き注意を拂ひ專ら實用的方面に重きを置き、各科の修了者は他の補助なくして善く自活し得らるゝの技術を教習せしめむとし、盲生には鍼治及び按摩を、唖生には裁縫及び木工を課せり、而して之が實績を見るに唖盲各本科は修業年限の關係上未だ卒業生を出さず、從て之が需要並に自活の狀況を知る能はざるも大正三年三月及び大正四年三月の兩年度に於て速成科を卒業したる生徒の狀況は極めて良好なるものあり、右兩年度の卒業生は合計十五名にして內八名は總督府醫院又は道慈惠醫院に於けるマッサージ技工として雇傭せられ、其他は各出身地又は其他の都市に於て開業を爲し各相當の收入を得つゝあり、特に其內三名は山東省青島に於ける同業者の招きに應じ最近渡航せりといふ、想ふに從來鄉間に於ても何等の職業にも從事し能はざりし者が遠く外國に出稼して衣食の途を得たるが如き本事業が朝鮮の現狀に對して最も適切のものたりしことを知るに足る可し

放浪漫記　大谷光瑞

（承前）五龍背は安東縣を距る四十分程にあり、安奉線に於ける唯一の温泉塲なり。附近の風光頗る佳、加ふるに殘葉霜に飽き、秋色猶在り。我邦北陸道の風景に稍々類せり、附近水田多く稻正に塲に登り豊饒の觀あり、蓋し水田の發達は近時にして成績良好なりと云ふ。此の附近は素より滿洲に屬すと雖も、朝鮮の勢力を蒙れるもの如く、温泉塲主人の言ふ所によれば、浴客の大部分は朝鮮より來り、滿洲西岸より來るは稀なりと。蓋し安東は既に朝鮮の市鎭の感あり、故に此の附近は正に其の感化を免れざるならん。敢て一の浴客のみの問題にあらざるなり。正午に近く五龍背を發す、此の時列車は何故にや頗る狹隘にして殆ど座席を得ず。夜間既に寢臺車を附し、旅客の多數なるに備ふるに拘はらず、晝間列車はボギー車半輛を以て一等車に充つ、爲めに座席を得ず、佇立せしあり、二等車に轉ずるあり、不便不快言ふべからず。夜間に便にし、晝間に不便を强ふるは、其の理由の存する所を知るに苦む。蓋し共進會（朝鮮總督主催）以前は、往來人稀にしてこれにても猶空席多かりしならん。然るに開會後は往來頻繁なるを以て、夜間は特に高級幹部の注意する所となり、寢臺車を附すると雖も晝間は別に命令を下さゞりしならんか。凡そ上より下に達する命令は、一の關節を經過する每に、一割の誤謬と能力を失ふ。宛も電信中繼の如し。電信中繼は自動中繼器ありと雖も、命令下達には、此便法發見せられざるを以て、大部隊に於ては、未だ弊害を免るゝ能はざるなり。安奉沿線の秋色は既に遲し。五龍背鳳凰城間は、既に枯林となるもの多し。この猶觀るべしと雖も、鳳凰城本溪湖間附近の霜葉は槭樹最も美なりと雖も既に葉なし、唯霜に殿するものは柞葉なり。然れども天然の溪山の奇勝は十分に遊觀の價値あり。晩來撫安に著し、貨車に便乘し、暮夜撫順に著す。炭坑長米倉博士は、小生の舊知なり、翌朝炭坑を見る。本年五月に觀ざりし部分を主要とし巡覽せり。不幸にも降雨ありしが觀覽の妨害をなすに至らず。此の地の規模は僅少の紙筆に盡す能はず、實に東洋第一の大炭坑なりとす。南滿に於て最も快感を覺ゆるは、この炭坑を觀しにあり。最新の工學は集めて此の炭坑にあり。一瞬の得る所一週の讀書に勝る。今回の覽る所最も新奇なるは、空坑の砂土充塡にあり。米倉炭坑長曰く、本坑は最厚二百尺の炭層を有し、百尺を下る所少なし、平均は百三十尺とす。如斯厚炭層は世界無比にして、僅かに此に次ぐもの墺太利ボペメンの炭坑に百廿尺と印度ベンガールゼリア炭坑八十尺の層あるのみ。故に皆其採掘に苦めり。幸に米國に於て空坑砂土充塡法を發明し、獨逸シレシア炭坑に於て是れを採用し、然かも大成せり。本坑も是れに倣ひ、更に改良を加へ試驗をなせしに頗る良好なるを以て、大規模に是れを行はんとす。此法は簡單に言はば、石炭を採掘せし部分だけ、砂土を充塡するにあり。故に出炭量の增加に伴ひ益々多量の砂土を要す。幸に運河に無盡藏の砂土を有するを以て、之れより電車を通じて運搬し、强水壓を有する水を以て空坑に壓塡す。而して流水は更にポンプにより地表に上げ、再び水壓を以て砂土を流下し循環せしむ。現狀に於ても每日四千噸の砂土を要するを以て、到底人力採砂の如き緩漫を許さゞるを以て蒸氣の循環採砂機を用ふ。然れども一機獨逸製を輸入し試驗せしに良好なりしが、現今戰時なるを以て更に數基の輸入をなす能はず、故に本邦に於て改良を加へ一層强大なるものを製作し、之れを用ふる豫定なりと云ふ。砂土充塡法は今日に於ては、八分の成工にして、明年一月には全部完成すと云へり（未完）（十月三十日天津に於て）

清漢時代失地史

帝政運動は支那共和國內にては著々進行すれども外蒙に於ては頗る不評にして活佛は北京政府にして若し帝政を實施するに至らば其冊封は之を受けずして再び獨立を宣言すべしと放語し又呼倫貝爾の勝福も亦內向活佛に隨從すべしと稱しつゝあり支那政府は爲めに其措處に窮し居れるが有志者間には此問題を以て政府の無能に歸す者とし攻擊の鋒を帝政に向くるもの少からず中には前清並に袁政府の失地史を配布して反袁熱を煽るものあり試に之を左に錄せん

▲前清時の失地（面積は英里）

地名	名義	獲得國	面積
香港九龍	割讓及永租	英國	四〇〇
澳門	永租	葡國	一一
臺灣	割讓	日本	一三、五五二
膠州灣	九十九年租借	獨逸	一九二
旅順大連	廿五年租借	露國	一、三七八
威海衛	同上	英國	二八五
廣州灣	九十九年租借	佛國	三二五
琉球	割讓	日本	五、五五〇
安南	同上	佛國	一五一、一〇〇
緬甸	同上	英國	一六四、〇〇〇

△現政府の失地

地名	名義	獲得國	面積
旅順大連	九十九年租借	日本	一五〇、五〇〇
東內蒙	同	同	六〇、二〇〇
外蒙古	割讓	日本	一、〇二〇、〇〇〇
西藏	同	英國	三四七、五二〇

京日詩壇　小永井槐陰

○觀盆池金魚
五五三三曳彩虹。傍游絲藻白蘋中。花偎見微風觸。斜照遲遲一尾紅。
緋裔錦袍驕睦風。逍遙三尺水晶宮。他羽北闘南者空。搏扶搖上碧穹。
評曰、前首色彩妍麗、後首託諷有餘、

○同上　高田小芥
下朝飽蘇不知貧。刎又東洋擶戰塵。醉老翁投餌笑。恩波一樣及金鱗。
評曰、寄感于東洋和平之事、中有雅音、

○同上　篠島紫峯
三尺盆池絕俗氛。小乾坤裏欲呼雲。端憶起去年事。同賞金魚坐夕曛。
評曰、即興有致、題曰寄懷如水兒亦可、

○同上　西田白陰
小小假山苔色繁。錦鱗追逐影翩翩。生涯不識風波險。安分偏憐老瓦盆。
日射欄干麗綺鱗。水紋皺處好相親。盆池激刺生涼意。不似炎氛困殺人。
評曰、前首含蓄又可、後首涼氣動于紙上、

日報俳壇　雉子郎選

砧
城壁に荒れし家や砧打つ　虚中子
厨の灯砧打つ灯となりに[illegible]　星村
小夜砧淋しさに手紙書かれけり　史龍

花芒
道一杯に負へる丸太や花芒　浦南改 三餘
火山脈通へる島や花芒　東村

コスモス
コスモスや垂閘に茶焚く大工の子　康知
コスモスや荷疲れ馬に門暮るゝ　霞月

萩
景を占む丘皆墓や萩の花　韭城
訪へは尼僧耻ぢらひぬ萩の庭　同

菊
菊の籬山の露午も晴れぬ宿　菊坡
菊畑や榛名は暮れて霧の中　東村

紅葉
霧散れば山湖明ゆき紅葉哉　幽谷
山冷の湖渡り來る紅葉かな　羊兒

柳散る
豚賣つて祭仕度や柳散る　大連 可雪
柳散るや內庭廣く黍積める　同
漁船沈めし村人騷ぐ散る柳　句碑守
雨脚の見ゆる薄日や散る柳　數逸
病名言はで醫師去りぬ柳散る　康知
湯無き日の町淋しや散る柳　靑奴
泳ぐ見えて餌に來ぬ魚や柳散る　潮外星
散る柳を食む池鳥や陽寒し　沛子
散る柳甕載せて女二人來る　邱聲
爐の湯煮ゆる窓を開けば柳散る　雨村
垢たまる乘捨舟や柳散る　泉園

▲本日の現物界　[illegible]

銃獵之趣味
見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝朝鮮の獵地を知らんとする人
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を悉知せざるが爲なり
本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり
獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地へ案內せる處始めて『スポーツマン』たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり
定價金四十錢
發行所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社

大正五年　法曹界之羅針盤
明治、中央、其他各大學の講義錄、部類分、合本販賣表、苟も官職にある者は勿論、判檢事、辯護士、高等文官たらんと欲する者は一日も座右を缺くへからさる小冊子往復葉書にて申込次第送呈す
明治堂書店　東京駿河臺明治大學前　振替口座三〇九九四番

朝鮮及滿洲
十二月號（百一號）　一册二十五錢　半ヶ年一圓五十錢　一ヶ年三圓　送料一册一錢五厘
▲日本の將來と支那及滿蒙　村田懲麿
▲經濟政策より觀たる朝鮮統治　今川宇一郎
▲撤底せざる滿蒙經營論　法學士 水池
▲朝鮮開發の三要義　岡田辯護士
▲朝鮮開發と水利事業　古賀廉造
▲朝鮮開發の第一策　中橋德五郎
▲滿蒙經營概論　水藻生
▲滿蒙視察所感　石橋東岳
▲川西大連醫院長を訪ふ　大連支局記者
▲澁澤男を訪ふ　東京支局記者
▲東京より　東京支局記者
▲支那問題と帝國の飛躍の好機　釋尾旭邦
▲年又暮んとす　旭邦生
▲雜する者に答ふ　旭邦生
▲朝鮮と浪人　ヒマラヤ山人
▲印象派的に見たる京城の人物　江戶の人
▲生活の哲學　根津
▲英國衰頽史を讀む　太田文學士
▲京城の電車の中より　飛魚郎
▲支那に於ける日本醫學　河西博士
▲慶州踏查記　村松夢洲
▲朝鮮ヨボ村の氣分　與の人
▲景氣か不景氣か　三島、井上、大村其他數十氏
▲御用商人と度係の內幕　一記者
▲ヨンドル探し
▲益々出で益々怪美人發揚
▲朝鮮滿蒙問答
▲風聞駄語
發行所　京城旭町二丁目　電話一千二百五十番　振替京城一三三番　朝鮮雜誌社

謝禮謹告
今回本縣柑橘販賣擴張の爲め鮮滿各地の市況實地視察の際京城南大門東市場委托問屋藤岡儀三郎商店に於て試嚬量試賣に附せし處多大の好評を以て迎へられ候處茲に厚く感謝の意を表し申候
尚將來品質精撰引續き移出致す事に相成候條茲に御愛用あらん事奉希望候
德島縣農會視察團

小切手紛失廣告
一金六拾九圓也
京城　株式會社朝鮮商業銀行小切手　番號一三七一五號
振出日　大正四年十一月三十日
振出人　濱吉太郎
渡先人　金東洙
右小切手渡先人金東洙ヨリ紛失セシ旨申出タルニ付後日發顯候モ無効ニ付拂不申此段廣告候也

京日案內
普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回每に金五錢增
◎寫眞技師及市內外交員募集す　希望者は履歷書携帶を要す　京城大和町一ノ四八　△朝鮮寫眞通信社　121
◎貸金　官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候　京城大和町三不老湯前橫丁　起本屋
◎雜誌記者至急入用男女數名　自作物及履歷書携帶來談あれ　京城治草町一〇六　△橫尾　115
◎事務員　高等教育ある者至急入用履歷書携帶本人來談　京城太平通二丁目　△朝鮮公論社　105
◎貸家　日本建溫突付三室至極閑靜　官吏向　漢陽公園南裏　管理者　齋龍山印刷局先畑中　79
◎印章名刺の注文取外交員入用市內に確實保證人ある者に限る　京城大漢門前（盛文堂隣）◎富田繁軒　101
◎番外　一回前金六十錢（無割引）匿名一回每に金五錢增
南米倉町百六十四番（あびす湯隣）ハナツ

產婆　塙富美　電話二五五四番　119
◎質　◎弊店の特色は秘密を確守し完全なる倉庫の設備に取扱中何從前より一層勉强懇切に　支那領事館筋　電話一〇九六番　南質店　118
內科　胃腸病　得業士　石川淳夫　京城本町一丁目　診察夜九時迄　電話三三九番　117
京城春川間合乘自働車　京城發午前七時　春川發午後二時　片道四圓　京城明治町一八四六　取次　春川自働車商會支配人松田壽男　120
歲暮　平壤名產　玄武栗　贈答用に便なる箱詰御好に應じ迅速調進　京城旭町一丁目五一七二　元祖玄武堂　109
產婆　宮良とし　南大門通三　藤木商店横入　電話一四三九番　◎親切を旨とし迅速御依賴に應ず　108
御用　總督府中樞院警務總監部憲兵司令部人夫請負　引越荷物　人力車帳場　壹○組　本町二丁目　電話一七九四番　114
內科　兒科　胃腸呼吸器病專門　山田醫院　京城本町二　壽町元中島病院跡（入院隨意）　電話二八八〇番　81
◎廻員入用　年齡十八歲以上廿四歲迄身體强壯の者採用す但保證人二名を要す　京城南大門通　大塚京城支店　92
梅毒　肺結核　島崎病院　壽町（本町二丁目右入）　內科外科　電話二七三六番　診察夜九時迄◎隔離及普通病室有　87
皮膚病花柳病專門　須古醫院　永樂町一丁目商品陳列館坂の上　電話二〇三番　90
恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　104

奉答文と勅語

德川貴族院議長島田衆議院議長は三日午前十時五十分參内宮中鳳凰間に於て拜謁仰せ付けられ德川議長奉答文を捧呈したるに 陛下には御嘉納あらせられ左の勅語を賜はりたり

勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

終つて德川議長御前を拜辭し退下するや島田議長恭しく奉答文を捧呈したるに前同樣の意味の勅語を賜ひ終つて同議長は御前を拜辭退下せり(東京特電)

皇子御誕生 公表

二日夜宮内大臣は官報號外を以て左の告示を公示せり(東京特電)

皇后陛下今二日午後七時三十五分御分娩皇子御誕生あらせらる

同時に宮廷錄事を以て左の發表あり

皇后陛下には御安産にて御母子共御健全に渡らせらる

在郷軍人親閲勅語 並に總裁宮奉答文

二日午後在郷軍人會に賜はりたる勅語並に伏見總裁宮殿下の奉答文如左(東京特電)

勅語

朕親シク帝國在郷軍人會々員ヲ閲シ其ノ健在ヲ欣ブ爾等倍々奮勵克ク其ノ本分ヲ竭シ以テ朕ガ寄珍ニ副ハンコトヲ期セヨ

奉答文

陛下成ラセラレ玆ニ帝國在郷軍人會々員ヲ親閲アレセラレ特ニ優渥ナル勅語ヲ賜フ貞愛等感激ノ至リニ堪ヘズ倍々奮勵努力以テ聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス貞愛帝國在郷軍人會々員一同ヲ代表シ謹ンデ奉答ス

帝國在郷軍人會總裁 貞愛親王

御劍賜授御儀

聖上陛下には二日午後御誕生あらせられたる皇子に對せられ皇室令御儀式に則り三日御劍を賜ふの御儀を行はせらる右に付き午前九時波多野宮相は聖旨を奉じて鷹司侍從長に對し神々しき錦襴の袋に納めたる御守護御劍一口を傳宣したるに鷹司勅使は御劍を捧じ九時二十分青山御所に參向、御産殿室に參入し德川太夫に右の趣を傳宣して退出し宮城に參內委細復命し玆に目出度御劍を賜ふの御儀は終らせ給へり(東京特電)

七日の衆議院

衆議院は四日は觀艦式の爲め休會すべく其の次の開會定日は七日なるを以て當日首相の施政方針演說、外相の外交報告、藏相の豫算說明あるべきが

大隈首相は當日出席

演說の筈なり(東京特電)

東京發別電

▲帝國議會 議會は三日…

…は一人一黨主義に復習し政府與黨の…

…政府の錦州愛琿間鐵道敷設計畫は滿…

…圖る爲め御大典記念禪堂建立會を長…

…一萬圓の寄贈額は一人十錢以上とし…

…督府醫院內に於て施行受驗者內地人…鮮人五人總員二十九名なり

…ひつゝありしが…日全部終了しなる…を以て成績は來六日發表する由而し…受驗者中在京の者に對しては…

…預金廿七萬九千圓貸出金六十一萬九千圓にして營業狀態は例年に比して…

…平壤方面に供給する…

◎古寶珍品複寫分配 …最も多しと…

奉天の輸出禁止 高粱木材棉の各種

段奉天上將軍は歐洲戰亂に對し中立嚴守の爲め高粱木材及び棉の海外輸出禁止令を發布し地方官に訓電して之れが勵行を命せり(奉天特電)

雜報

露國關税改正と朝鮮貿易 生牛は無税か

從來極東露領に於て無税品たりし物品中今回露國關税法の改正に依りて有税品となりしもの、內本邦よりの輸出に關係する品目並に税率は一日の官報に發表されたる通りなるが之れより先き露國政府は獨、墺協定税率の廢止と共に歐露貿易に於ける輸入税率中式貨物に對しては一定の從量税率を增加し其他は數種の物品を除き凡て一割を增徵することゝ改正せるも此改正は未だ亞露貿易に及ばざりしが今回關税改正の結果は亞露貿易に在りても其多くの貨物に對し歐露に於ける税率を採用することゝなりしを以て愈之れが實施の曉は朝鮮、浦鹽貿易にも亦大なる影響を及ぼす可しと思惟せらる、而して前記歐露に於ける一割の關税增徵が從來の無税品に及ぶものとせば歐露の無税品たる穀類、生牛の如きも一割税となり、延いて亞露に於ても穀及び生牛等に對して亦一割税を課せらるゝこととなる可し、但し官報に依れば今回の税關改正品目中には生牛を含まざるを以て之れに對しては依然無税たる可きか、兎に角一問題として當局に於ては目下調査中なり

滿洲支人對日感情 錦縣の排日熱益々盛なり

日支人間に兎角騷ぎの起るは滿洲の常情にして今回又々奉天西大門附近において支那巡警及び兵士が日本警官を毆打し侮辱を加へたる事件は此際嚴重なる抗議を要することと勿論なるも此類の事は滿洲において餘り珍らしき事にあらず併し近來日本に對する支那官憲の態度益々妙ならざると共に一般支那人の日本人に對する感情及び態度も亦た從前に比し一層險惡を加へ來れる感なきにあらず彼の遼西地方錦縣においては支那官民の日本人に對する感情宜しからず殊に退去を餘儀なくせしめたる邦人以外更に二名の邦人賣藥商をも錦縣より退去せしめ支那官憲は遼西地方を以て飽まで南滿洲にあらずと主張し此の方面に日本人の蹤影なからしめんと努めつゝある模樣なるが他外國人は敢て其の移住を拒まず唯何がなしに日本人を敵視すといふ有樣にて其の心事甚だ奇怪なるものあり而も我が領事館の交涉は依然消極的にして捗々しからざる爲め折角同方面に發展せんと準備したる邦人は何れも失望し居るが如し長春方面の東蒙古境界附近においても日本人排斥の氣勢漸く高まらんとするの徵象あり此時に方り我が鐵道院が其の報告書の內に長春を以て北滿の一地方と記したるは甚だしき疎漏にして既に遼西地方をさへ南滿洲にあらずと主張する支那政府は長春を北滿とせば此の一帶の地方も亦滿洲にあらずとして條約適用地以外に置き此の方面への日本人の發展を更に阻害し來らんも知るべからずとて窃に憂ふるものあり兎に角滿洲に於ける對日惡感情は今後種々の形となりて益々現出し來るべきを以て此際豫め之に對する用意の必要あり(大連)

官鹽採製終了

本年度は約五千七百萬斤 前年に比し三百萬斤增加

廣梁灣鹽田にては十一月を以て本年度の採鹽作業を終了せり、同月は天候既に寒冷なりしのみならず中旬に降雨ありし爲め八日頃より大體に於て人夫を解放したる結果其製鹽高は三十萬二千斤に止り、朱安は既に十月末を於て作業を打切りたれば結局十一月中の官製鹽高は前記廣梁灣の採鹽數量に過ぎざる次第なり、而して本年度の總採鹽高は廣梁灣鹽田四千五百九十八萬五千斤、朱安鹽田四百七十一萬一千斤、合計五千六十九萬六千斤にして本年度は最製鹽期に多大の降雨其他天候上の支障あり支那方面にては各地とも多大の減收なりしに拘らず之を前年度の採鹽高四千七百七十六萬斤に比し約三百萬斤の增收を見たるは鹽田の整理に依るものにして官製鹽の爲め喜ぶ可き現象なりといふ可し

定欵愈今朝認可さる

五日より九日迄名簿縱覽 十五日に選擧執行と確定

京城商業會議所定欵は三日中に認可ある筈なりしも其筋の都合により四日朝を以て認可指令を與へらるゝこととなりたり右に就き創立事務所にては三日夜來其準備に忙しく四日其筋より指令に接すると共に直ちに創立委員に其旨通牒を發し其より選被選擧人名簿の縱覽期日を告示し更に內鮮人別被選擧人員の認可指令を受くる等四日の創立事務所は大多忙を呈するに至るべし斯くて五日發行の新聞紙上に告示を行ひたる上選被選擧名簿を

▲五日間縱覽 せしめ九日中を以て締切る次第なり從來の選擧に於ては選被選名簿の確定期を選擧期日前十日間と規定され居たるも今期は時日の急迫せるため特に一日とし即ち選擧當日前の十四日を以て選被選名簿に對する異議の申立てを打切ることゝ定めらるべし今回の選擧は

▲內鮮人合同 の選擧にして選擧は素より同日同一の場所に於て行へども被選擧人は一級四名二級三名と告示に由りて定められ居れば夫々の鮮人有權者の手にて投票を行ふものなるも從來鮮人等の行ひ來りたる選擧とは大に其方法を異にし居り例へば韓相龍と單に書くも無效にして漢城銀行專務取締役韓相龍と書きて初めて有效となるものにして此邊の投票心得に就ては何れ詳報する所あるも充分の注意を要すべしとのことなり尚ほ認可あり次第直ちに

▲定欵を印刷 して公表する運びとなり五日正午迄には製本出來の筈なりと云ふ以上の如く意外に早く認可を見るに至れるは半島商工業唯一の機關が確立されたるものにて豫ねて一般實業家の希望せし如く記念す可き御大典の年に京城會議所の實現を見たるものなり

紅蔘收納と拂下

總督府度支部專賣課開城出張所に於ける本年度の紅蔘は目下製造作業中なるは既記の如くなるが昨今にては豫定の二萬四千斤中其四分三即ち約一萬八千斤の製造を了へ順次會計官吏に引渡して同所の倉庫に收納しつゝあり、三井物産に對する拂下に就きては目下詮考中なるが本年の紅蔘は品質平均せるを以て拂下價格は前年に比し或は多少の高價を見るならむと觀測さる

濟生院の農場

京畿道楊州郡蘆海面に於ける總督府濟生院農場は大正二年十一月の開始にて附屬用地としては國有未墾地及び同林野地の交付引繼を受けて現今面積總計約百七十町歩を算し大正二三兩年度に於て其內未墾地の一部に開墾工事を加へ必要なる溝渠、堤防等の築造を爲し、尚ほ必要に應じて墾田を得るの施設あり農場建物は大正二年中の新營に係り四戸建百七十五坪を有す、各戸には宿舍の外農家として必要なる各般の建物及び施設を加へ、其宿舍は院兒の居室に接して直接院兒の農業指導者たる農夫室を設けたり元來院兒は其性質に應じ各適當なる職業を選擇せしむ可きは勿論なりとも當局に於ては朝鮮に於ける現狀より之を見るときは主として農民たらしむるを彼等將來の生計上最も適切なりと認め、茲に農場の設置を見るに至れるものにして養育部の學科修了者中身體健康にして勞働に適するものは全部之を農場に送りて農耕の作業に從事せしめつゝあり、九月十五日現在の農場收容兒數は十五歲以下六名十八歲以下二十名、二十歲以下二名二十歲以上一名、合計二十九名を數ふ

農場に於ける從業院兒には作業獎勵の旁、將來彼等が自營資金の一部を蓄積せしむるの趣旨を以て從業給與金を支給することゝし大正三年度より之が實施を爲せり、本年三月實際支給したる人別最高額は十一圓九十七錢、最低者は十圓六十二錢にして其他全院兒六十四名の貯金總額は三百二十九圓六十一錢なり

朝郵船繰變更

朝鮮郵船株式會社に於ては同社經營命令航路を來る一月初めに於て船繰變更施行す可く十二月中に遞信局に對し船繰變更認可申請を爲す可し而して來る一月より二月迄結氷の故を以て浦鹽及び鎭南浦線を休航す可し

鮮銀資金狀態 十一月末

調査に係る十月分朝鮮銀行運轉資金は拂込資金及び積立金一千三百十七萬八千五百圓政府の貸下金一千二百萬圓銀行劵發行高二千六百八十六萬三千七百三十圓預金一千八百三十一萬五千七百三十二圓三十七錢其他六百十八萬二千八百三十八圓合計六千二百九十四萬八百圓なるが右の內十月末に於ける貸出(內地支店の貸出を除く)は三千〇二十六萬五千餘圓にして前月末に比し八十二萬六千餘圓を增加し預金(內地支店の預金を除く)は千七百九十三萬六千餘圓にして前月末に比し廿萬三千餘圓を減少せり而して十月末に於ける銀行劵の市場流通高は二千五百七十三萬五千圓にして九月末に比し實に二百六十一萬九千餘圓の增加なりと

府協議員會開會 京城府

協議員會は三日午前十時より開會一應阿峴里墓地を實地に視察するの必要あり金谷府尹、石原事務官の案內にて委しく同地を視察し再び學校組合會議場に於て會議を開き墓地使用料(等外地一圓より甲號一等地十八圓迄)及び其他二件を議し正午散會したり

印度革命黨員退去命令事件

犬養氏等の運動=印度人の行衞不明

印度革命黨員タグール・グ、プタリヨ兩氏が二日午前七時までに退去すべしとの命を受けたるは既電の如くなるが其れに先だち犬養毅、頭山滿氏等の日本有志は右兩名は獨探に非ずとの理由を以て退去命令の延期を政府に請ひたるに政府は强制執行を以てしても命令を實行せんと言明したるより兩氏は頭山滿氏邸にて一日深更まで何事をか密議し居たり然るに右印度人兩名は其の儘何れにか姿を晦まし行衞不明となりしより警視廳にては二日朝來捜索中なるも未だ發見せず(東京特電)

岡村技師卒去

六日午後二時葬儀執行

朝鮮總督府鐵道局工務課長技師岡村初之助氏は急性肺炎にて三日午後三時半卒去せり享年五十三歲、危篤の趣 天聽に達するや特旨を以て左の御沙汰ありたり因に葬儀は六日午後二時龍山官舍出棺元町與國寺にて佛式執行の筈なり

正五位勳四等 岡村初之助

叙從四位
授勳三等瑞寶章

▲故岡村初之助氏略歷

京都府京都市下京區四條通長刀鉾町十二番戸岡村初之助氏は文久三年十二月十八日出生、明治十五年初めて工部九等屬に任じ廿一年鐵道六等技手に任じ因來鐵道隊附として支那に渡り鐵道隊解散と共に靜岡保線所勤務となり廿九年一月遞信省鐵道技師となり高等官七等に叙せられ從七位に叙せらる三十年高等官六等に叙せられ正七位に叙せらる卅七年一月文官分限令により休職を命ぜられ更に京釜鐵道株式會社技師を拜命南部工事監督となる三十九年四月明治三十七八年事件の功に依り勳五等瑞寶章を授けらる同四十年四月一日鐵道作業局廢せられ帝國鐵道廳を設置せらるゝに際し帝國鐵道廳技師に任ぜられ高等官四等に叙せらる同四十年六月廿五日統監府鐵道管理局技師に任ぜられ同年七月十一日龍山出張所長を命ぜられ同八月高等官三等に叙せらる同六月官制改正勅令第百六十號に依り統監府鐵道管理局技師高等官三等一級俸となり共後同七月鴨綠江出張所長を命ぜられ龍山營業事務所兼務を命ぜらる同四十三年二月十日官制改正に現建設事務所長兼鴨綠江建設事務所長を命ぜらる四十三年十月勅令第三五九號に依り朝鮮總督府鐵道局技師(三等)となり同四十四年三月鐵道局工務課長を命ぜらる同四十五年一月勳四等に叙せられ旭日小綬章を授けらる同六月高等官二等に陞叙せられ大正元年九月正五位に叙せらる大正四年十月滿三十五年以上勤續鐵道事業に從事し成績拔群に付特に表彰せられ大正四年十二月三日勳三等に叙し瑞寶章を授けられ特旨を以て一級を被進正四位に叙せらる

人事消息

▲李完用伯 三日午後九時南大門驛發列車にて歸京
▲奥黒源氏(砲兵正領) 水原より歸京
▲マレイバー氏(英商人) 三日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲カステン氏(同上) 同上
▲マツクウエル氏(同上) 同上

共進會と京城(六)

經濟界

▲洋雜貨類 本品は入京內地人の必要に迫られて購入したるもの多く、相當の盛況を呈せしもの如し入京地方鮮人に對しては賣行良好なりしもの、鮮地內各所より入京したる團體觀覽者は、滯在時日の短きと、市中に於ても引率觀光を爲したる等に因り、適當なる物品を見出す能はざりしと雖も、多少の購買力を有する者も彼等は鄕里の市場に於て需むるより廉價にして、且つ品質良好なるが故に、何れも多少の購入を爲したり其主なるものは洋靴、洋傘、中折帽子、ステッキの類とす

▲自轉車と絹布 而して近時鮮地內に於て道路の改修せらるゝと共に、自轉車を通ずるの便を得たりしかば、自乘用として入京地方鮮人の本品を購入したる者數多ありたりと云ふ、又支那絹布は晴著用婦人上衣として、最も適當し、且一圓餘の廉價を以て販賣せらるゝが故に土産用として本品の賣行好況を呈し、支那御賣業者の如き比較的大なる利益を得たりと云ふ。

▲車夫の收得高 閑院宮殿下御入京當時に於ては、內鮮人入京者特に夥しく爲めに內地人車夫の如きは一人一日平均七八圓の賃金を得たりと云ふ、而して其收得額を開會五十一日間に依り平均すれば、帳場と挽子との收入關係及び車夫の賃金等より算出する時は、共進會の爲め外來者よりの收入增加額、內地人車夫約二圓二十錢、鮮人車夫一圓四十錢と見る時は、之に車夫の數及び開會五十一日を加算し、內地人車夫の平時に比し增收したる額約三千圓、鮮人車夫約七千圓、合計一萬圓となる金額は少なりと雖も、下級勞働者中收得の著しきものにして、社會政策上特に注意すべき點なりとす。

以上略說したる外、外來者の在京中自用品、電車賃金及び其他に投せられたる金額を約十萬圓と見て之等を左に表示すべし。

業別	共進會の爲め京城が特に外來者より收得したる金額
旅館	七〇〇千圓
花柳界	三〇〇
車夫	一〇
土産品 內地人入京者	三七五
土産品 鮮地內入京者	四四
自用品電車賃其他	一〇〇
計	一、九二九

即ち這次の共進會が外部より吸引したる金高は大約二百萬圓と見ることを得、而して外來者の京城に於て費消したる此等莫大の金額は、久しく委靡振はざりし京城の經濟界をして積極的に殷盛ならしめたるに與りて大なる力あり。

謹告

今般左記の處に於て辯護士業務に從事致候間此段謹告仕候

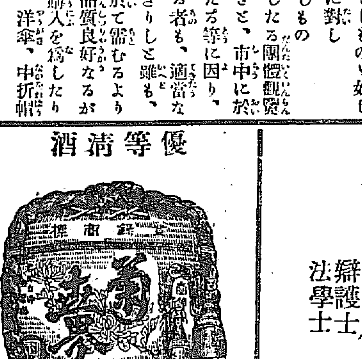
大正四年十二月

京城旭町二丁目十番地(原勝一氏邸跡)

辯護士 法學士 三浦顯藏

電話三三七番

優等清酒



福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店

京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

眼科內科 小兒科 入院隨意

京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)

本田醫院 院長 本田建爾

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店

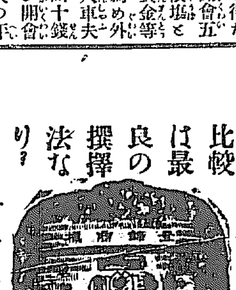
電話四五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

比較は最良の撰擇法なり?

サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

抹茶會席 松秀庵 白水

新築中の離座敷及温突座敷落成仕候御宴會等は特に勉强仕候間御用命奉願上候

京城旭町一丁目公園下 電話一三七一 三九一四番

西洋料理 カフェータイガー

例年の通り牛、鷄、鴨すきやき相始申候 御立寄り願上候

南大門通三丁目 電話二五七一番

▲早くて安い一時間寫眞。ひると變らぬ夜間撮影

京城寫眞館 本館 南大門通三丁目 電話一〇四〇番 分館 永樂町二丁目 電話二三四九番

說をなすべし

▲中正會動く　中正會の態度

▲錦愛鐵道と我利權　支那

典を記念し朝鮮の禪道佛法の隆興を　有志寄贈の淨財に依る可く其豫定額

◉醫術開業試驗　醫術開業試驗は十一月十五日より總了し三十日より引續き臨床試驗を行ひ……部合格し之に學術試驗を終

◉京城銀行營業成績　京城銀行最近の營業狀況を聞くに先月末……は約七萬圓製綿資金は約一萬……京城一圓なりと朝鮮製綿牛皮は主として大阪及び姫路向き最も多く製綿は元山

芽出度しとも芽出度し

母君陛下御輕き御產のほど
御產殿に御籠りありて四十三日目

皇后陛下には十月二十一日を以て青山御所內御產殿に籠らせられてより茲に四十三日目なる十二月二日午後七時三十五分を以て皇子を御分娩相成りたり　陛下には御產殿移御の後も些かの御障りも無く、いと御健かに在せしが二日午前には芽出度大禮大觀兵式が咫尺の間なる青山練兵場に行はせられしより近侍の者に種々の御下問あり、折柄飛行機の空中分列式の壯觀など望遠鏡にて御覽ありたる程なり、午後六時ともなれば俄かに御產氣の御模樣ありたるに依り御次に控へたる片山侍醫頭は召されて拜診し奉りたるに正しく御陣痛なるより女官等御介抱申し上げ御產室に移御あらせらるゝや東久世主事は直ちに宮內省に右の御次第を通知し產婆、波多野宮相等は速刻參入御產殿に出仕し只管御安產を祈りつゝ御看護申し上げ豫て準備整ひ居ることなれば御手當など聞しては些の遺憾ある筈なく斯くて　陛下には御陣痛の御催しありてより僅に三十分間にて六千萬同胞の等しく祈念し奉れる御產はいと安らかに皇男子を御分娩遊ばされたるこそ目出度けれ（東京特電）

▲御命名は八日　二日午後七時三十五分御誕生あらせられたる皇子の御體量は九百三十匁にして極めて御健勝に亘らせられ來る八日を以て御命名あらせらる可し

▲侍從長御產殿伺候　三日午前九時鷹司侍從長は皇子御檢視として青山御產殿に伺候し奉り德川皇后宮太夫竝に園典侍の手を經て　皇子御守護の件を傳宣せり

●東京市奉祝會準備
帝都其日の賑ひぞ偲ばるゝ

東京市にては來る十二月九日　天皇陛下の行幸を仰ぎ上野にて大祝賀會を催すとは既報の如くなるが當日は有爵有位有勳者等約三千名の招待員に對し記念章を贈與し且料理を分與する事となり右記念章は安藤七寶店にて製作中なるが形は直徑七分五厘純銀白色七寶製古鏡形の圓形にして『臨幸記念章』の五字を刻し萬歲旛を赤色七寶を以て其左右に現はし裏面には年號を彫刻せるものなりと尙ほ大祝賀會擧行當日東京府下に於る百萬圓以上の製產額を有する製品を玉座近く陳列天覽に供し奉る事となし奧田市長より夫々製產者たる紡績、毛織物、藥種類、敎育品、小間物類等約卅種に通牒を發し東京實業聯合會副長玉置源太郞氏之が總委員に擧げられたりと又當日の煙花は鍵屋にて製造中なるが總て大國旗又は奉祝萬歲の文字其他奉祝に因める打上等ある由にて午前六時より午後五時迄上野公園にては百五十餘發其他九段兩國靑山三菱ケ原の四箇所にて約百發宛又夜間は以上の五箇所にて二分間每に一發の割合にて各八十發を打上ぐる筈又特に上野式場にては午前八時より午後五時迄總計四十個の輕氣球を飛揚せしめ且陸軍々樂隊並に三越少年音樂隊等をして交互に奏樂して興を添へしむる由

●あゝ、沈默の雄辯
佛國新聞記者我が國體に驚嘆す

佛國レダクター、オーベスト、バクセン新聞記者ロシヤヂャー氏は京都に於ける御大典を拜觀し一日朝關釜連絡船搭乘朝鮮經由ペトログラードに向ひたるが釜山に於て往訪せる記者に對して語るらく『今回の御大典は自分の今日まで知れる範圍を以てせば實に日本に於ける曠古の大業たると共に一種の森嚴の氣に打たれ鳳輦の肅々として過ぐる處警護の騎兵の列次正しく且つ整へる　▲世界を通じて　未だ斯る嚴肅なる通御を見たることなし歐洲に於ては皇帝と云はず大統領と云はず其通過するに過へば公衆は歡迎の聲に天地も搖がんばかりにハンカチーを振り又は帽子を打振り其熱狂の有樣は寧ろ尊嚴を傷くるものあるべきを今回日本に來り御大典に列して始めて覺知せり日本の皇室と國民との關係は歐洲の其れとは異なり二千五百七十五年萬世一系の皇統を踐み給へる皇室を戴くことゝて其親密の度と尊嚴の度とは一層熱烈なるものあるべく鳳輦を迎ふるに當りても默して何事も語らず首を垂れて仰ぎ見るものなく殆んど無人の境を鳳輦は進御しつゝあるが如きは是れ正に日本國民の美點にして　▲此の沈默こそ　却つて熱烈なる歡呼の內に燃えて包み切れぬ尊嚴奉拜の念の鬱勃たるものあるべく思はれ歐洲人の取つて以て學ぶべき美點なるべしと信ず鳳輦を迎へて森嚴此上なき國民は又一面に奉祝の意を致すに熱狂し國旗行列に提灯行列に殆んど家產を擧げて顧みるなきが如きは確かに　▲秩序ある國民　の態度として予は欣躍の情に堪へざりし皇室の尊嚴と國民としての奉祝とを混同せざりしは實に秩序を保てるものにして殊に小學校生徒の國旗行列の如きは皇室に對する尊嚴の心を幼少より其の頭腦に深刻せしむるものにして國民敎育上至便の良策を與ふるものなるべしと信ず』

●不景氣と言つても
京城へ商品はドシ／＼入つて來る

南大門驛の側にある京城稅關の今日此頃は每日年末仕入の移入貨物で山をなして居る、京城に於て平常われ／＼の　■消費する商品は　其の內地よりの移入品たると諸外國よりの輸入品たるとを問はず何れも此所で課稅せられるので市況の如何も一番早くわかるのである京城に於ける本年十月末までの輸移出入總金額は約一千萬圓、これを昨年十月末迄の統計と較べて見ると約百餘萬圓の增加を示して居るからいくら世間が不景氣々々と言つても京城の　■商賣は年々發展しつゝ　あるものと見られる、併し京城の土地が元來生產力に乏しい一大消費地であるから其の大部分―殆んど九割方は他方からの輸入品であるが就中　■內地から移入される　商品が其の大部分を占めて居る、又例年一番多く貨物の來るのは秋口の九月中旬から冬の十二月中旬まで約百日間の期間であるが今年は共進會開會の爲め八月下旬から仕入期に入つたといふ、殊に仕入の最も　■忙がしくなるのは師走　前の昨今で此の期間に最も際立つて增える商品は先づ鮮人向きの生金巾晒金巾を大宗とする、金巾は以前上海經由の英國製品九龍印などが多かつたけれ共現今では殆んど內地製の三Ａとか南大門票などに驅逐されたやうである、其他內地向きの絹綿布もずつと增して來る、次ぎにメリヤス類、帽子類、足袋類の防寒用品も著しく殖えるが酒類は麥酒が無くなつて　■清酒の天下となる　併し昨今あまり移入の無い處を見ると共進會的に仕入た續がまだ殘つて居ることも思はれる、又綿絲綿布の移入が增えるのは自然の數であるが紙類の增えるのは各官衙の注文が此の頃激增するからであらう、又果實では正月前後用の紀州蜜柑が著しく增し、下關あたりから送られる野菜類や花類も此の時期に多くなる、其他一般の仕入商品が增して來て殊に日曆などは年末用として特に此の頃のものである、又外に多く來るのは小包郵便の商品であるがこれは主として北京上海あたりから京城の支那商舖宛ての絹布類が多く內地からは市內の　■吳服店に急ぎの品　を取寄せる時に多く來る、又小包外には鐵道小貨物があるが是は主として　書籍類が多く一箇月平均八九千圓の額に昇る、年に直すと十萬圓だ、次に京城からの移出は極めて尠く其の主なるものは先づ內地仕向けの牛皮と滿洲行きの煙草位なもので牛皮は昨年の十一月までに三萬餘圓の移出額が今年は十七萬餘圓に激增したのは歐洲戰亂の影響であらう中には　■朝鮮から希臘仕向けの牛皮　もあつたが一般に年々輸移出額が增えるのは心强い事である、又少い事ではあるけれ共大平町のガハナウ商店が朝鮮家具を歐米に輸出して居るのは却々面白い處に著眼したものである

●接心を見る
修禪道場の印象　必死の公案拈提

臘八の接心と云ふのを見んと二日午後六時に沙河の妙心寺別院を訪れた、若草町で電車を下り北に河橋に出て更に川をつたつて一丁ばかり下れば黑の打板門のある朝鮮家屋が妙心寺別院で右には臨濟宗妙心寺出張所、左には無盡燈論提唱と尊大に書いた看板が掛かつて居る。門を這入つて玄關に頭を差込んで中の樣子を見ると先づ目に付いたのは數十足の下駄、一絲も亂れず整然と列べてある能く聞く看脚下と云ふ　■禪宗の文句　は此處らの消息を洩したものと見える、中は寂然として聲一つせない御堂に上らうか引返さうかと躊躇して居る處に靜かに這入つて來た居士の三四人、サア上り玉へと勸める。ともかくも下駄を片一方の隅にキチンと揃へて上る　達摩然たる數十の居士が薄暗い法堂の周圍を圍んで默然として　ザラリと座つて居る、堂內の樣子如何にと見廻せば佛檀の横手の柱に『安禪不必須山水滅却心頭火自凉』とか『補綻衲由紅爐』など書いた三尺ばかりの　■白木の棒が　かゝつて黑塗の木札に以雲居士とか、鐵牛居士とか、湛然居士などゝ書いたものがズラリと掛けてある是れは居士の坐席を示したものらしい、我輩も新參の取扱で木札のない場所に坐席を與へられ坐禪の仕方など敎へて貰ふた坐禪の話は屢々聞いたこともあるが實際來て見ると物珍らしい、直日と書いた木札の下に香爐を前にして坐つて居る一人の僧侶が此堂內に於ける支配權を持つて居るやうに見えて　彼れは木鐸と小鐘で　堂內の整理　をして居る、我輩は坐禪をするのは今日が初めで　■足の痛みと　窮屈さに苦しむことが烈しいけれども身動きも出來ぬ、直日は小鐘をチリン／＼と二つ鳴し、二三分間を置て木鐸をカチ／＼と二度鳴らすと一座の居士がサア助かつたと言はぬばかりに息を入れ手を揉み便所に立つものもある、これも極めて靜肅の內に行はれる隣席の居士は吾輩を新參者と見て取り此堂內は一切木鐸と小鐘とで指揮することになつて居る今のやうに小鐘を二つと木鐸を二つ打つのは經行と云つて謂はゞ休憩の意味である此の間に足のしびれもなほし小便などにも立つのである今度木鐸を先きに二つ、と小鐘を四つ打つのは止靜と謂つて又元の禪牀に返りて正念工夫を凝すのであると小さな聲でいと親切に敎へて吳れた彼れ此れする內に今數つた止靜となり末席の方から一人の僧侶が合掌しつゝ　■靜かに佛壇　の前に進み禮拜して柱に掛つて居る白木の棒をおし戴き之を肩にして靜かに坐禪せる居士の前を廻る此坐席の上を盜み見に見ると聖侍と書いた木札が掛つて居る斯くて此の聖侍の禪士は合掌するものゝ前に進み棒を横へて互に一禮すると居士は片手を地について頭を下げる聖侍は之を　■骨も挫け　よとばかり五六度烈しく打ち下す　初めて見ると氣味が惡い位、居士と聖侍とは一禮して元の姿勢になつて靜かに步を進めるのである此の棒は警策と稱して睡氣を催すものや坐相の惡いものを警めるものであると隣席の居士が敎へて吳れる、斯くて　■禪士は　嚴かに『總參』と呼はり　高さ二尺五寸ばかりの鐘に吊した喚鐘を高く低く五ツカン／＼打ち鳴らし　■上座の居士　から一人づゝ合掌して靜に喚鐘の側に威儀を正して坐はる、又續いて鈴か奧の方から聞える喚鐘を二つ鳴らして一禮して靜に立つて奧に進む隣席の居士に聞くさ奧の方に鈴の聞えるのは老師が合圖をするので總參と云ふのは此堂に坐つて居るものが老師から授つて居る公案に付いて見解を述べに行くのである貴下も公案を貰はれては如何さ云ふ、一同の參禪の濟むのを俟つて我輩は直日の禪士に連れられ老師に目通りをした、初めて目通りすることを禪宗では相見といふさうだ當り前なれば相見香と云ふものを包にして見ゆるのであるけれどもこれは略することにした、法式の通り三拜して室內に這入ると詰襟のやうな　■老師は如意　を前に置いて坐つて居る、老師は相脚の口を開いて職業や姓名などを問はれ、貴公も道を道る譯りか、道を道ろには生命を賭して掛らねばならぬ、道は細行を愼んで以て大德を成ずるので窮屈で苦しくて耐らぬものぢや、公案といふても讀むで見れば不立文字で自分が悟るのぢやそこで不立文字敎外別傳さいふのぢや大悲根機を以てやられば出來るものぢやない、道る氣があるなら道つてもよい先づ折角骨を折つて見ることぢや』とのことであつた再び元の法堂に歸ると白隱禪師の坐禪　■和讃　も濟んで茶禮が嚴かに行はれるこれまでは誰も睡一つするものはない、斯くて居士の內には　■公案が透過　したさか齒も立たなかつたとか、三箇月目に通つたとか、修禪道場は歐程さ奮勵とに充ち滿ちて居た。

初冬小品（五）水涜——前川千帆

噫岡村技師
▲精力の權化　三本營業課長談

岡村君と予は公私共に最も親しき一人であつたから同君の卒去に就ては實に痛恨に堪へないでゐる次第である予が岡村君と知り合ふたのは明治三十年の交神戶で予は運輸事務所長の職を奉じ同君は保線事務所長の任にあつた頃であつた　■其間の交遊五年　其後双方共勤務地を異にするに至つたが明治四十三年予が朝鮮鐵道に來任する樣になつて再び同君と舊交を溫むる樣になつた公務上は勿論私交としては殆んど親族同樣に交際してゐた今回の悲報の何人にも豫期せしめない程突如たる事であつて同君を知る人　■皆驚愕してゐる　譯だが予の如きも殊に遺憾に堪へず中宵人靜まるに及んでは故人を偲んで淚自から下るの感があり充分に此際同君の性格など語る事も出來ないが所見を聞してゐた處の一斑を語れば君は所謂精力の權化とも言ふべき活動的な人で精力絕倫な人も澤山あるが君の如きは誠に稀に見る底の模範的な人であつた同君が丁年未滿の少壯の時から鐵道の極めて下級に入り今日勅任の位置を占むるに至る迄の　■勤續三十四年間　は終始鐵道の工事に心身を抛ち或は保線に或は建設に又明治卅七年の初め日露兩國風雲急なるに際しては大屋現鐵道局長官監督の下に京釜線速成の大任を帶び遂に其半を急設したのである其他同君が朝鮮の鐵道に盡瘁した事は一々擧げて數ふる事も出來ず夫だけ大に爲すある可き筈の同君の爲めにも亦朝鮮の鐵道の爲めにも誠に惜しみても餘りある人であつた

●今日の演藝會

豫て石塚、渡邊、持地、鈴木、金谷、佐々木各夫人其他京城有志婦人の斡旋中なりし白耳義國寡婦孤兒救濟慈善演藝會は愈よ本土曜日午後七時より鍾路通基督敎靑年會館にて開催すべく曲目は謠曲、吉備舞、活人畫、踊、ピアノ獨奏、唱歌、李王職音樂隊の奏樂等とりどりに面白きものを撰び一般の同情厚き人々の來場を希望する由猶ほ入場料は白切符一圓紅切符五十錢なりと

●ハムレット今夜限

京城基督敎靑年會の主催にて一日以來有樂部に於て開演中の活動寫眞ハムレットは意外の好評を博し每夜九百乃至千名の入場ありたるが豫定の如く四日夜を以て閉會する筈なりと定めし今夜は滿員札止の盛況を呈すべし

入院隨意（普通病室並に隔離病室）
京城旭町一丁目（鈴木醫院跡）
小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

◎御大典記念祝盃（御即位式當日の郵便局記念スタンプ押捺）

品質保險付

三ツ組（大直徑四寸　中同三寸五分　小同三寸）桐箱入
朱塗金緣金蒔繪鳳凰麒麟入盃（記念文字入）
壹千組を限り猶ほ殘り少く御申込有之候に付更に二百組限り
記念スタンプ
を受け賣價金壹圓貳拾錢（送料荷造費共）にて分讓可致候御申越次第引替小包にて送る
京城仁川濱町　京日仁川代理部　電話二四〇番

三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒　朝鮮特產海老の精
海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候
三和高麗燒元　海老の精發賣元
朝鮮鎭南浦　富田商會
特約店　京城龜屋　同津村商會　仁川濵川商店　平壤龜屋支店　大邱龜屋支店　淸津宵木商店　江景岡商店

諸官衙御用達
洋藥　賣藥　卸問屋
醫療及試驗器械
くすりは山岸
懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天祐堂　藥品部　器械部
電話　一二一〇　二四一

診察時間　自午前九時　至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八二三番

このくすりは逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし疝痛、痔疾（俗にひゑ、しつ、やさ）胎毒其他皮膚一切の諸病脚氣水腫症等によし
本家　大阪高津表門筋起屋町四　七ふくや　伊藤長兵衞
藥價　半週分七ふく入　金拾五錢　壹週分十四ふく入　金貳拾四錢　三週分四十二ふく入　金六拾五錢　五週分七十ふく入　金壹圓廿錢
七ふく　ひゑ藥

建築用浪板　平板葺軒樋　竝ニストーブ　各種煙筒附屬品　倂テ掃除取調　責任受負業
京城黃金町二丁目（電話二五四五番）
鐵力商　田中吉太郎
御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

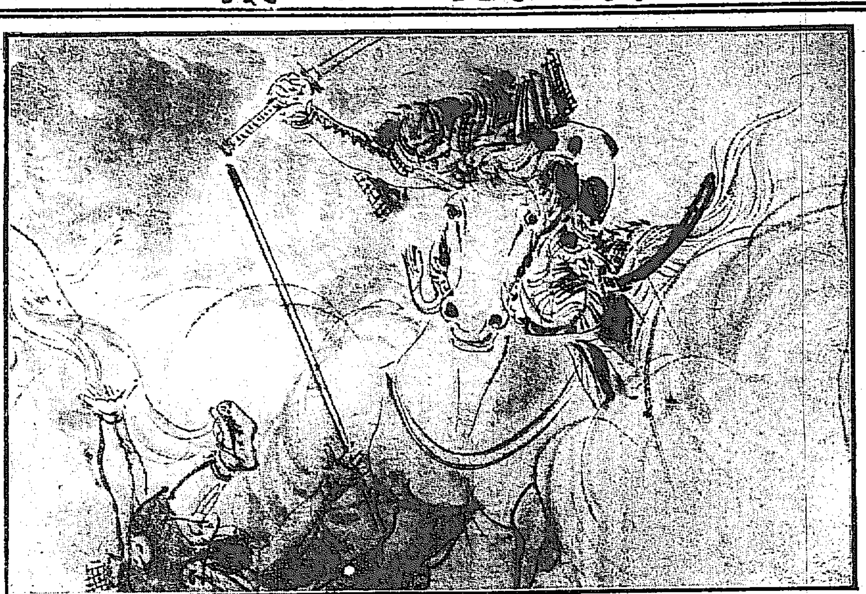
千生瓢（59）

須藤南翠作　筒井年峰畫

第一戰（十三）

『蓬なき面々の振舞かな、越前を出でゝより、命は匠作に進らしたではないか。中川瀨兵衛尉は、千騎萬騎に勝る首級ぞ、誰彼の用捨はない、はや討ち取れや、恩賞は望み次第ぞ懸れや。若共』

玄蕃允盛政は、鞍坪に突つ立つて大音に呼はつた。烈しき下知に勵まされて、また盛返した佐久間勢も、待ち設けたる清秀が拂ひ切りに、算を



亂してはたゝと倒るゝを見ては、踏み込む足を引き返して、またもや浮足に亂れ立つ。盛政切齒をして躍り上り、天地に響く聲を揚げて、

『是れほど卑怯な侍士とは知らなんだが、討ち洩されのへろ／＼勢に、脆く負けた見苦しさよ。いざ玄蕃が一戰して見するぞ、何れも我を手本にして、敵一人も助くるな』と、大喝するのであつた。

其聲の終らぬうちに、鐵棒劉々とうち揮つて、中川勢の眞中に馬を入れ四角八面に薙ぎ廻る。此勢ひに力を得て、拜郷五左衛門も取つて返し中川小右衛門と渡り合ふ。小右衛門は西國名代の武術の達人、殊に荒馬乘りの名人である。五左衛門も北國名代の勇士である。こゝを先途と切り結んで、追つ返しつ挑み合ふ勢は、龍虎の相搏つに異らず。山路將監も引返して、九郎次郎が指物を見るより、

『向ひ柏の葉の指物を持たるゝは、中川殿の身內と見申した。山路將監見參申す』と、馬近々と乘り進む。

九郎次郎は莞爾と笑つて、

『片田舍の素葉武者を、山路殿には能く見知つて在したな。如何にも瀨兵衛尉が季の者、男も小さく、武勇も數ならぬ者ながら、主君に仕へて二心は持ち申さぬ。いざ御相手仕つらう』といふ間もなく、山路が左手の袖を切り落した。

清秀が馬脇の蹴いたのを見て、北國勢のうちより連島傳藏、下田忠二郎、佐用田周平治、竹島伊平治といふ四人の武者、前後左右より駈け向つて、清秀に渡り合ふ。清秀四人の武者を覗て、呵々とうち笑つた。

『誠に殊勝千萬ながら、其方共は命二つ所持するか。此清秀には不似合の相手ではあるが、冥土の旅の道草を拂はせ、死出の山の案內をさせると思へば、切つて取らするぞ』

飽まで嘲弄して三尺二寸をうち閃かし、いざ來い來れと待ち受けた。

連島下田左右より、物をも言はず切りかゝるを清秀片手打に切拂へば、二人一度に劈かれて、屍は左右にうち倒れた。入り交つた佐用田周平治覺えの業物をふり翳して、

『天晴候ふ中川殿、但し佐用田の骨は硬うおざるぞ』と、拜みうちに切り付けた。

清秀透さず身をひらいて、佐用田に空を切らせた上、怯む所を丁と打てば、佐用田が胴は二つになつて、馬の左右にどうと落ちた。此太刀風に恐れを抱き、引外して逃げ出す竹島伊平治を、及び腰に打ち下せば、空竹割に切り割れた。

斯くと見た玄蕃允盛政は、透間もなく馬を進めて、

『瀨兵衛が爲に重代の郎黨夥多討たせたわ。此上は瀨兵衞めを討ち取つて、彼等が供養に手向けようぞ』と呼はり／＼攻め寄せた。

『やあ、若輩者の推察至極、過去り居らう！』

清秀が一喝を聽くや、盛政は赫と怒つて、

『老武者の分際で、慮外千萬。美事此棒受けて見よやッ』と罵つた。

兩雄の搭鬪は、實に一幅の活畫であつた。盛政が第一棒は、清秀に十分の戒心を與へ、清秀が初太刀は、盛政に侮り難き武術を示し、一上一下虛々實々、互ひに秘術の限りを盡し、奮鬪激戰の光景を見て、佐久間が郎黨近藤無市、槍を捻つて躍り出で、

『中川殿御免なれやッ』と、橫合より突きかゝつた

清秀は斯くと見て

『おゝ優しい奴の』と、莞爾と笑ひながら『可愛はれども戰場のならひ、清秀が刀の銹にして取らする』と、大刀取り返して切り拂ふ。

槍の穗尖は宙に飛ぶと一時に、曳とばかりに打下す盛政が鐵棒に、清秀先手の肩を微塵になれと撲ち碎かれて、鞍にも堪らず、眞逆さまに落つる處を、無市透さず組み敷いて、二太刀まで貫いたので、西國一の剛將も、あはれ無慘の最後を遂げた。

『大岩山の大將、中川瀨兵衛尉清秀を討ち取つたわよ』

此聲戰場に響き渡つて、中川方は力衰へ、小右衛門は拜郷に討たれ九郎次郎は自害し、淵之助は佐久間安次が軍中に切死し、中川勢は一人も殘らず戰死して、砦は全く落ちたのである。

玄蕃允盛政は、燒け落ちたる本丸に旗を樹て、勝鬨三度揚げさせ、厚く將士を犒ふのであつた。

親切で安くて上手な
寫眞　京城寫眞館
本町南大門通分館永樂町

讀者の領分

北米倉町の或雜貨店の二階の下を通つて居たら上から何にかひつかゝつた僕は吃驚して小便かと思つて仰向いて見ると明治町の某病院の看護婦が不埒の眞最中へ本夫が踏込み悶着中酒德利を引つくり返した其の滴であつたとは驚かざるを得ない（通行生）活動寫眞館に男女の席を區別したは好いが新婚の夫婦などが折角樂しく見に行つて居るのを無理にお茶子が引き分けて居るなどは氣の毒だ其處で別に最一つ家族席と云ものを設けては如何（新婚男）▲龍山讀者諸君に申す爲替は相互局間原簿を保存しあれば制規の手續をなせば二個月でも一年でも內地は勿論外國でも金高拂渡し局名年月日受取人の姓名男女の別まで分る筈なり（京城の一讀者）▲商業會議所の選擧も近寄つたらしい最ふ大分候補者がコソ／＼運動を始めて居る向もある之れから何々縣人會や何々會などか盛んになるのだらうから先づ一番儲けるのは料理屋だらうとの評判▲極月の今日其うくよ／＼考へたつて何にもならぬ同好の士大擧して兎狩でもして浩然の氣を養つては如何です僕の邊には近時野兎の出沒甚だしく作物に害あり若し兎狩の連中來らば僕等眞つ先きになつて御案內申すべし（鷺島の百姓）

◎『御大禮記念』出づ　御大典に關する刊行物中永く保存すべき價値あるものとして太陽增刊『御大禮記念』を推すべし殿選せる口繪數十頁いづれも鮮麗を極め讀一ある叙述百六十頁みな不朽の文字なり至賤の價格を以て斯る完備好記念物を提供せる發行所の努力を多とす（博文館發行、定價卅五錢）

石炭購買入札　京城郵便局
詳細ハ本月四日ノ朝鮮官報ニアリ

新刊書御案內

書名	著者	正價
◎人間と自然	大町桂月	一〇〇
◎最近の自然科學	田邊元	一二〇
◎珍らしい自然界の現象	横山又次郎	一〇〇
◎青年立志の教訓	土屋春吉	九〇
◎三宅雪嶺青年訓	修道文庫	一〇〇
◎乃木大將學生訓	渡邊白水	六〇
◎商用諸算法	石橋梅吉	二五
◎社會的個人主義	大杉榮	九〇
◎人心收攬術	川崎正輝	六〇
◎根氣の世の中	蘆川克己	一二〇
◎原始的民族の秘密講	田崎仁義譯	一三〇
◎基督教十講	宮川經輝	一〇〇
◎公民教育の理論及實際	川本宇之助	一六〇
◎現行小學校關係法令全集第一卷		六〇
◎土木工學上卷	松本德弘	二五〇
◎簡易製鐵術	向井哲吉	一三〇
◎朝鮮名勝詩選	島成顯村	一三〇
◎鼓川集	宮川鼓川	四〇
◎米穀經濟	岡尻稻次郎	六五
◎店頭裝飾術	清水正巳	一二〇
◎標準かるた	讀札取札各	四〇
◎練習用標準かるた	讀取兼用	六〇

大阪屋號書店
京城本町　電話二〇八　振替京城二五七三

午前八時迄御購求の方は一個五厘引
乃木餅
用▲源平しるこ　二椀十錢
そば饅頭●きなこまんぢゆう●おはぎ●くしぬきだんご●燒餅●薩摩名產かるかん
明治町二丁目やぞ寺前通長崎名物屋

商況

東京株式特電（三日）

一月限	一三二、一〇	一三二、四〇
二月限	一三三、六〇	一三三、五〇
三月限	一二四、八〇	一二四、六〇
四月限	一二五、八〇	一二五、八〇
五月限	一二六、九〇	一二六、五〇

大阪期米特電（三日）

後場寄附[illegible]

遂に立會中止

[illegible]

▲後場落付く

[illegible]

三日の二月限[illegible]

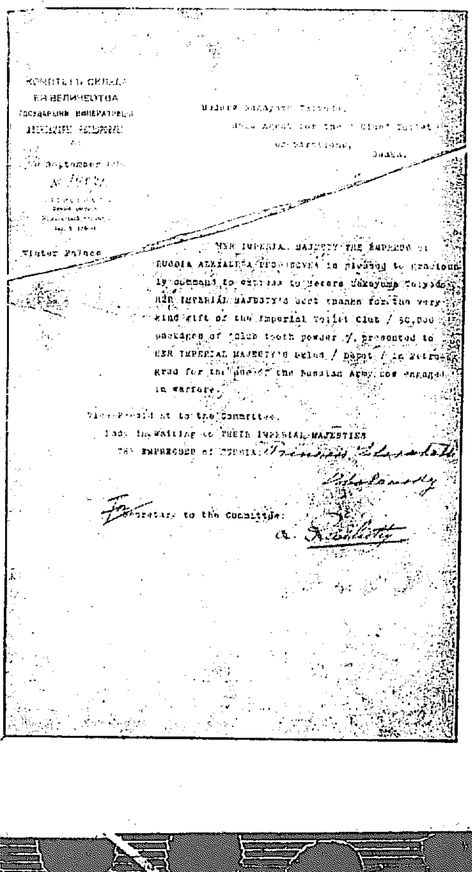
十二月限	一萬四千百石
一月限	三萬九千五十石
二月限	一萬八千百五十石

クラブ齒磨の光榮

大露西亞帝國皇后陛下より優渥なる御諚を下し賜はる

日下祖國の爲に奮戰しつゝある露國軍隊の使用料として曩にクラブ齒磨五萬個を寄贈せるクラブ本舗は九月十六日附を以て畏くも露國皇后陛下より左記の優渥なる御沙汰を拜せり謹で錄し奉る

露國皇后陛下よりクラブ本店に賜はれる御諚



謹譯

露西亞帝國皇后アレキサンドラ、フォドロウナ陛下は刻下出征中なる露西亞國軍隊の使用料としてペトログラードに於ける陛下の恤兵品本部に寄贈せられたる帝國化粧品俱樂部の頗る懇篤なる贈物―クラブ齒磨五萬袋に對し陛下の最大なる感謝を中山太陽堂に致すべく優渥なる御意を下し賜はり候

千九百十五年九月十六日（露曆九月三日）　ペトログラード　冬宮

露西亞帝國皇后アレキサンドラ、フェオドロウナ陛下恤兵品委員會副委員長
露西亞帝國皇后陛下御附女官　エリザベス、オボレンスキー內親王（御自署）
恤兵品委員會秘書　エル、レウェリオッチー（自署）

大阪　クラブ化粧品總本店
中山太陽堂御中